「福井県地域訓練コンソーシアムによる離職者向け職業訓練コースの開発及び検証」に係る報告書

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

福井支部　福井職業能力開発促進センター

は じ め に

離職者を対象とした短期間の委託訓練や求職者支援訓練といった職業訓練プログラムは、これまで民間教育訓練機関等において実施されそのノウハウが培われてきましたが、今後、民間教育訓練機関等を活用した委託訓練において地域で必要な能力開発機会を確保する際には、より就職可能性を高めることができる職業訓練コースの提供が求められています。

厚生労働省の「非正規雇用労働者の能力開発抜本強化に関する検討会」の報告書（平成 24 年 12 月 21 日公表）においても、「身近な地域で必要な訓練を受けることができるよう、地域の能力開発の拠点として、コンソーシアム方式で、地域の公共職業訓練機関、大学等教育機関を活用して、経済団体等と連携・協力しながら、地域や社会全体の人材ニーズを踏まえた能力開発機会を身近な場で提供していくことが必要である」として、その際には「公共職業訓練機関や業界団体等が連携・協力して効果的な訓練カリキュラム等を開発・普及させていくこと」や「民間職業訓練機関の質を向上させること」が重要な取組とされています。

また、政府の「日本再興戦略」（平成 25 年 6 月 14 日閣議決定）においても、「地域レベルの産学官コンソーシアムの組成による就職可能性を高める訓練コースの開発・実施等によるフリーター等の正規雇用化支援を実施する」と明記されています。

これらを踏まえ、企業ニーズ等を踏まえた、より就職可能性を高めるための職業訓練コースを開発するため、福井職業能力開発促進センターにおいて福井県、福井労働局、一般社団法人福井県情報システム工業会、福井県インテリア事業協同組合、福井県商工会連合会、福井商工会議所、一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会、福井県立武生工業高等学校、日本労働組合総連合会福井県連合会によるネットワークを構築し、福井県地域訓練コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）を組織しました。

当該コンソーシアムにおいて、情報分野及び建設分野において職業訓練コースを開発し、委託訓練の実施を通じた訓練カリキュラムの検証を行い、その結果を踏まえてモデルカリキュラムとして取りまとめました。

本報告書はこれら一連の成果を取りまとめたものです。本事業の成果が、今後の職業訓練の参考となれば幸いです。

最後に、本事業の推進にあたって多大なご協力をいただいたコンソーシアム委員の皆様、職業訓練コースの試行を担っていただいた教育訓練機関ならびに関係各位に対し、厚くお礼を申し上げます。

目　　次

1　コンソーシアムの概要

2　福井県地域訓練コンソーシアム委員

3　分野選定の背景

4　分野決定後から検証訓練修了までの取組状況等

5　検証方法

6　検証結果

7　本事業の成果物について

資料

・　　委託訓練モデルカリキュラム

・　　科目の内容・細目シート

・　　使用教材リスト

1　コンソーシアムの概要

地域の人材ニーズ等を踏まえた職業訓練コースを開発するため、福井職業能力開発促進センターにおいて、福井県、福井労働局、一般社団法人福井県情報システム工業会、福井県インテリア事業協同組合、福井県商工会連合会、福井商工会議所、一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会、福井県立武生工業高等学校、日本労働組合総連合会福井県連合会によるネットワークを組織し、企業・事業主団体が求める知識・能力を職業訓練に取り込む連携体制（地域コンソーシアム）を構築しつつ、離職者向け職業訓練コースの開発を行った。

なお、コンソーシアムの開催概要については図１のとおり。

図１　コンソーシアム開催概要

開催回	開催日	議題等
第1回 ・2回	平成28年 8月2日	・福井県地域訓練コンソーシアムの設置について ・コンソーシアム事業の概要について ・開発する離職者向け職業訓練コースの分野選定について ・訓練カリキュラム概要案について ・今後のスケジュールについて ・その他
第3回	平成28年11月2日 ～11月15日	・カリキュラム案の精査・確定について ・募集方法の協議について ・その他
第4回	平成29年10月10日	・離職者向け職業訓練について ・在職者向け職業訓練コースの開発について ・今後のスケジュールについて
第5回	平成30年 3月19日	・離職者向け職業訓練の実施結果と検証結果について ・在職者向け職業訓練コースの開発結果について ・職業訓練のベストミックスの推進の検討について

2　福井県地域訓練コンソーシアム委員

福井県産業労働部労働政策課長
福井労働局職業安定部訓練室長補佐
一般社団法人福井県情報システム工業会副会長
福井県インテリア事業協同組合理事長
福井県商工会連合会事務局長
福井商工会議所中小企業総合支援センター所長
一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会事務局長
福井県立武生工業高等学校長（第4回コンソーシアムから参画）
日本労働組合総連合会福井県連合会副事務局長
福井職業能力開発促進センター所長（座長）

３　分野選定の背景

開発する離職者向け訓練コースとして、福井県の産業施策及び求人・求職者の動向等から、観光・販売分野、情報分野、建設分野を候補とした。

上記 3 分野について、平成 28 年 8 月に開催した第 1 回福井県地域訓練コンソーシアムにおいて、求人・求職のニーズがあることや福井県内において委託訓練として実施していないこと、より就職可能性が高まる訓練コースの開発が可能であるか等について検討した結果、情報分野、建設分野の 2 分野を選定した。

（１）情報分野

新しい技術を活用してシステムを更新したいと考える企業が増えているなか、モバイルデバイスの普及や、ネットワークインフラの高度化によってデータ量は増加している。

現状必要とされているシステムを顧客や各分析データから読み取り、システムのプログラムに役立てることができる能力の習得が必要である。

高齢化社会を迎える日本にとってＩｏＴの浸透は必要不可欠であり、今後さらに発展・開発できる。

ネットワークの普及に伴い、「セキュリティマネジメント」「攻撃」に対する高度なスキルも求められることからしっかりとした知識・技術の習得に加え、サイト構築全般の能力をもつ人材の育成が必要である。

福井県では県内中小企業等のインターネットを活用した商品・サービスの販路拡大の支援を強化するため、Ｗｅｂサイトの構築やマーケティングなどネット通販・取引に関する情報提供や、支援施策の紹介・斡旋等を一元的に行う「ネット通販・取引支援センター」を運営し、ネット通販のアドバイスを行うＥＣ専門家を活用し、新たにネット通販・取引による販路拡大を目指す企業を支援している。

また、インターネットの業務活用支援のため、活用手法・実践的な活用事例、オープンデータやＩＴツールの最新動向に関するセミナーを実施し、参加企業間の情報交換及びビジネスマッチングを目的とした交流会等を実施している。

平成 27 年度に関して情報分野の「ソフトウエア開発技術者」「システム運用管理者」等の有効求人倍率は 2 倍以上となっていて、いずれも高い数値を示している。

「平成 26 年度　情報通信白書」において、企業におけるインターネットや企業内ＬＡＮ等の利用上の問題点についてみると、「運用・管理の人材が不足」44.7%と最も多く、Ｗｅｂ関連の知識を身につけることは就職の幅を広げることにつながる。

ネット社会において危険性をしっかりと理解した上でプログラミングすることが今後ますます必要となるため情報セキュリティ対策に関しても養成する。

スマートフォンの普及によりニュースや動画等、どこでも情報収集が出来る時代になり、インターネットは日常生活や社会生活において必要不可欠なものになりつつある中で今後もネット利用者は増加が見込まれるが、Ｗｅｂの未利用企業も多くある。

実際にＷｅｂプログラミングのできる人材は不足している状態であり、Ｗｅｂ関連の知識・技術を有している人材の活用の場はさらに増えていくと思料される。

求職者向けのＷｅｂサイト制作に関する訓練は実施されていない。

（２）建設分野

『国土交通省　平成 25 年住生活総合調査』から最近 5 年間の住み替え・改善（建て替え、リフォーム）の実施状況は平成 20 年調査時と比べリフォームのみ増加している。

家計主の年齢が高い世帯ほどリフォーム意向を持つ割合が高いというデータが出ていることから、バリアフリー住宅を始め世代・壮老等を問わず誰でも使いやすいユニバーサルデザイン住宅が求められ、長寿命で良質な住宅が全国的に求められる中、居住者のライフスタイルなど総合的に調和のとれた住環境をトータル的にコーディネートする必要性がでてくる。

福井県の女性就業者数は年々増加しており、『福井県就業実態調査年報』によると、平成 26 年の女性就業者数は 191,600 人、県内全就業者に占める女性の割合は 45.8%と全国平均（2,729 万人　43.0%）より高くなっていることから、建設分野（インテリアコーディネーター・建築ＣＡＤ）の女性向けの人材育成の場を提供してはどうかと考える。福井県では人口減少対策戦略案により、県内 9 つの市町で条例を制定したことから空き家の所有者に対し適正管理を求め、空き家リフォーム支援事業などの取組みを行っている。

福井県と各市町が連携して、住宅の耐震化を促進するために、耐震診断と補強プラン作成を支援したり、高齢社会化により高齢者が自宅で健康に過ごせるよう高齢者対応住宅や、省エネ対策として省エネ住宅の推奨で自治体からは各住宅支援制度が出されている。福井労働局の統計資料（2015 年分）により、建設業関連はいずれも求人に対して求職者が少なく人材不足感が高い。

工務店等のインテリアコーディネーターの活用意識が低かった為に、実際に経験を積む機会が少なかったことで経験豊富なインテリアコーディネーターが不足しているため、専門知識・技術を習得し、実際に経験を積める環境を提供し、加えてコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の習得により、即戦力となる人材を養成する。

築年数が経過した住宅を、現状ならびにこれからの施主の住まい・暮らし方に合わせ、現存する住宅を活かしつつリフォームすることはきめ細かな室内外の計画の提案が求められ、インテリアコーディネーターの活躍する場面はあり、築年数の経過による劣化等により各部分の定期的なメンテナンス、ライフステージの変化による各居室の使用方法の変化によるリフォームなど今後も活躍の場は大きいと考える。

建設分野（インテリアコーディネーター等）に係る離職者訓練は、県の委託訓練では実施していない。

４　分野決定後から検証訓練終了までの取組状況等

今般の離職者訓練コースは、福井職業能力開発促進センターで直接実施するものではなく、企画競争によって訓練委託先を決定し、訓練を実施することから、入札に際し必要となる訓練カリキュラム概要（図 2）を作成した。作成の過程において留意した点として、情報分野では、企業におけるインターネットや企業内ＬＡＮ等の利用上の問題点として、「運用・管理の人材が不足」が 44.7%と最も高くＷＥＢ関連の知識を身につけることは就職の幅を広げることにつながること、近年のネット社会では危険性をしっかりと理解した上でプログラミングすることが必要のため、情報セキュリティ対策を盛り込んだカリキュラムとした。

建設分野では、住宅のリフォーム需要が増加しており、高齢社会でのニーズ対応として高齢者・障害者が住みやすい住環境を整備するための福祉住環境コーディネーター知識を身につけること、インテリアコーディネーターは客・社内外の打合せ等で相手の要望をくみ取りプランニングし、プレゼンテーションすることが業務内容のためコミュニケーション能力を高める内容を科目に含めた。

図２　訓練カリキュラム概要（情報分野）

<table>
<tr><td>訓練分野</td><td>情報分野</td><td rowspan="2">就職先の職務</td><td rowspan="2">Webプログラマ
システム運用管理</td></tr>
<tr><td>訓練期間</td><td>平成29年2月～平成29年8月
（6か月）</td></tr>
<tr><td>訓練目標</td><td colspan="3">（1）社会人基礎力の習得（チームで働く力の養成）
（2）ネットワーク構築技術の習得
（3）HTML・CSS、Perl・JavaScript等のプログラミング言語・技術の習得
（4）情報処理関連の技術について幅広い知識を習得</td></tr>
<tr><td>仕上がり像</td><td colspan="3">サイト構築全般に関しての知識、及び技能・技術を習得し、プログラミング、システム運用管理ができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">主な習得すべき事項
※時間については目安</td><td colspan="3">【Webサイト構築技術の習得】（99H程度）
Webの知識、Web構築に必要な言語（HTML5,CSS<JavaScript,PHP）、データ収集・表示プログラム（JAVA）、データベースの取扱い（SQL）、サイトの運用管理、セキュリティに関する知識、Webアプリケーション開発（要件分析、基本設計、詳細設計、開発、動作テスト）に関する知識・技術の習得
コンピュータとネットワーク、ネットワークサービスとプロトコル、機器の種類、コンピュータにおけるネットワークインターフェースの確認、ネットワーク機器との接続</td></tr>
<tr><td colspan="3">【プログラミング演習】（357H程度）
Javaプログラミングによるデータベースを利用したWebアプリケーションの開発、
設計書を基にしたプログラム実装、SQLによるデータベース操作</td></tr>
<tr><td colspan="3">【システム概論】（72H程度）
システムの構成と役割、セキュリティと利便性の関係、情報セキュリティ対策と情報元の確保、システムの運用管理、システムの保守、クラウドに関する基礎知識等</td></tr>
<tr><td colspan="3">【社会人基礎力】（30H程度）
多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎能力を育成する。（コミュニケーション力、協働力、パソコン基礎力等）</td></tr>
<tr><td colspan="3">【就職支援】（60H程度）
求人情報の提供、キャリア･コンサルティング、履歴書等の作成支援、面接指導、職場体験、HW・機構・受託機関との連携支援等</td></tr>
<tr><td rowspan="5">カリキュラム案作成に当たっての留意事項</td><td colspan="3">1. 訓練科名
カリキュラム案の内容を適切に表現できる訓練科名とすること。
（例：Webプログラミング養成科）</td></tr>
<tr><td colspan="3">2. 実技等
個別のプログラミングだけの実習ではなく、＜要求分析、設計、開発、テスト＞といった一連の流れをグループワークの課題に取り込むなど、実際の開発をイメージできる実習を設定すること。
職場体験、職場見学等を盛り込む等実際の仕事をイメージしたものにすること。</td></tr>
<tr><td colspan="3">3. 社会人基礎力、就職支援
（1）訓練時間
社会人基礎力、就職支援を含めてそれぞれ、30時間以上60時間以下とし、カリキュラム時間に含めること。
（2）実施時期
全訓練期間（6カ月）を通じて習得できるよう実施時期を設定すること。
（3）訓練方法
社会人基礎力を育成するための訓練要素を実技科目に盛り込み、グループワーク等を多く取り入れた方法とすること。</td></tr>
<tr><td colspan="3">4. 安全衛生
必要な安全衛生対策、訓練自体に必要な安全衛生教育を盛り込むこと。</td></tr>
<tr><td colspan="3">5. 資格取得
訓練内容として、「基本情報処理」「サーティファイJavaプログラミング能力認定試験3級・2級」にチャレンジできる内容も包括していること。</td></tr>
</table>

図２　訓練カリキュラム概要（建設分野）

<table>
<tr><td>訓練分野</td><td>建築分野</td><td rowspan="2">就職先の職務</td><td rowspan="2">CADシステムを利用した図面作成関係、設計補助業務、CADシステムの運用、管理関連の業務</td></tr>
<tr><td>訓練期間</td><td>平成29年3月～平成29年7月
（5か月）</td></tr>
<tr><td>訓練目標</td><td colspan="3">①社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーションスキルを習得する。
②インテリア関連の基本的な法規・規格・基準、人間工学、室内環境、内装工事材料の種類や特徴、
色彩などのコーディネート、クライアントに対するプレゼンテーションスキルを習得する。
③建築に関する基礎知識及びCADによる図面作成の基礎的知識・技能を習得する。
④就職活動力の養成</td></tr>
<tr><td>仕上がり像</td><td colspan="3">建築に関する基礎知識や、インテリア・住宅・商品に関する幅広い知識・専門的な技術などを有し、しっかりと
ヒアリングし、その要望を基にプランニングし図面・立体モデルなどを作成しプレゼンテーションすることができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な習得すべき事項
※時間については目安</td><td colspan="3">【建築関連の基本的な知識】（96H程度）
建築構造・構法、内装仕上材（床・壁・天井）、造作・開口部の種類・特徴と仕上構法の特性、住宅部品、
機能材料等に関する基礎知識等建築工事に関する基礎知識
建築等設計図書、実務基礎、造形の基本（空間構成と造形）二次元・三次元表現技法、CAD表現・レンダリング等基礎知識</td></tr>
<tr><td colspan="3">【インテリア関連の基本的な知識】（90H程度）
空間計画（各室計画・リフォーム計画）、人間工学、モジュラーコーディネーション、インテリア計画の基本的な検討事項（生活像、規模計画、寸法計画、人間工学、造形原理、色彩計画等）、生活場面の構成手法、リフォームの計画等に関する基礎知識、インテリア・エクステリアに関する基礎知識、規格・表示、関連法規等に関する基礎知識</td></tr>
<tr><td colspan="3">【販売の知識】（18H程度 ）
コンサルティングの基本、コンサルティング・セールス、プレゼンテーション等の基礎知識、設計図書、仕様書、
工事の積算、見積用語等の基礎知識、室内環境（安全・省エネ・環境等）に配慮した商品、廃棄物に配慮した商品、高齢者に配慮した生活空間、バリアフリーを考慮した住空間コーディネート等に関する基礎知識</td></tr>
<tr><td colspan="3">【コンピュータの基礎・安全衛生】（27H程度）
CADの概念・システム・ファイル形式やCADの画面構成・図形・操作概念等のCADの基礎知識、VDT安全衛生</td></tr>
<tr><td colspan="3">【CAD図面演習】（150H程度）
CAD図面演習、作図・編集コマンドの理解と演習、文書作成、表計算演習含</td></tr>
<tr><td colspan="3">【プレゼンテーション】（51H程度）
インテリアの基礎知識をもとに、住まいのインテリア空間に関する与えられた課題について、これを理解・判断し、プレゼンテーションとして図面等で的確に表現できる</td></tr>
<tr><td colspan="3">【社会人基礎力・就職支援】（75H程度）
就職活動の基礎、業界研究、履歴書・職務経歴書の作成等、ビジネスマナー、自己分析、コミュニケーション
スキル、協調性、問題発見・解決力、判断力、キャリア・コンサルティング、クライアントに対する関係構築スキル等</td></tr>
<tr><td rowspan="5">カリキュラム案作成に当たっての留意事項</td><td colspan="3">1. 訓練科名
カリキュラム案の内容を適切に表現できる訓練科名とすること。
（例：インテリアコーディネーター・CAD養成科）</td></tr>
<tr><td colspan="3">2. 実技等
建築全般、製図全般、またインテリアに関連する基礎的な知識を習得するとともに、職場体験、見学等を
盛り込む等実際の仕事をイメージしたものにすること。
コミュニケーションスキルについても、ロールプレイングによる実技を盛り込むこと。</td></tr>
<tr><td colspan="3">3. 社会人基礎力、就職支援
（1）訓練時間
社会人基礎力、就職支援を含めてそれぞれ、30時間以上60時間以下とし、カリキュラム
時間に含めること。
（2）実施時期
全訓練期間（5カ月）を通じて習得できるよう実施時期を設定すること。</td></tr>
<tr><td colspan="3">4. 安全衛生
必要な安全衛生対策、訓練自体に必要な安全衛生教育を盛り込むこと。</td></tr>
<tr><td colspan="3">5. 資格取得
訓練内容として、「建築CAD検定　3級・2級」、「インテリアコーディネーター」、「福祉住環境コーディネーター　3級」の資格取得にチャレンジできる内容も包括していること。</td></tr>
</table>

作成したカリキュラム概要は、福井県地域訓練コンソーシアムにおいて内容を審査の上、企画競争入札の仕様書に添付した。入札の公示は平成 28 年 8 月中旬に行い、訓練の受託希望者から提出のあった受託申請書等の審査を経て、10 月初旬に訓練委託先を決定した。

平成 28 年 11 月中旬から開催(持ち回り)した第 3 回福井県地域訓練コンソーシアムにおいて、訓練委託先から提出のあった検証訓練のカリキュラム案、科名、受講生募集方法及び訓練期間等について検討し、内容を決定した。検証訓練カリキュラムは図 3 のとおりである。

図３　検証訓練カリキュラム（情報分野）

訓練科名	IT技術マスター科	就職先の 職　務	Webプログラマ、 Webページ制作者、システムエンジニア、セールスエンジニア、社内システム担当者、社内IT エキスパート、技術サポートエンジニア
訓練期間	平成29年2月23日～平成29年8月22日 （６カ月コース）		
訓練目標	①IT技術の全般的な知識を身につけ、【基本情報技術者試験・ 午前免除試験 】の合格を目指す。 ②Webページの制作技術とWebアプリケーション作成の技能を習得する。【Webクリエータ能力認定試験】の合格を目指す。 ③Javaでのプログラミング言語・技術を習得する。（【Javaプログラミング能力認定試験 】対応可） ④社会人基礎力、コミュニケーションスキルやプレゼンテーションスキルの向上を図る。		
仕上がり像	企業戦略やIoTも含めた幅広いITに関わる知識とコミュニケーション能力をもち、データベースやWeb技術、アルゴリズムとプログラミングが理解できる人材を育成し、IT系企業のハードウェア、ソフトウェアのエンジニア、営業のみならずエンドユーザー側のシステム運用管理者として活躍できるような就職時に幅広く選択できるスキルを身につける。		

訓練の内容	科目		科目の内容	
	学科	入所式等	入所式､オリエンテーション､修了式	
		ヒューマンスキル	自己紹介などコミュニケーションの基本とビジネスマナー	30時間
		就職支援	地域の労働市場等の把握、企業の求める人材、職場見学、キャリア形成の必要性、職業人講話、キャリア・コンサルティング等	42時間
		情報基礎 （テクノロジー系）	基礎理論、アルゴリズムとプログラミング、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク、セキュリティ、システム開発技術など	60時間
		情報基礎 （マネジメント系）	プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査	9時間
		情報基礎 （ストラテジ系）	システム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動、法務	36時間
		安全衛生	VDT作業と安全衛生	3時間
		試験対策	Webクリエーター能力認定試験、および基本情報技術者試験の午前免除試験に向けての対策、過去問題演習	18時間
	実技	文書作成基礎	Wordによるビジネス文書作成、表作成、図形処理などの基本的な文書処理等	15時間
		表計算基礎	Excelによる、数式の作成、関数の活用、データベース機能、グラフ機能の活用等	24時間
		プレゼンテーション基礎	PowerPointによる、スライドの作成・作表・グラフ、図形、アニメーションの挿入など基本的な操作習得	12時間
		プレゼンテーション実践	プレゼンテーション資料の作成、発表	18時間
		データベース	Accessによるテーブルの作成、フォームやレポートの作成と編集、クエリによるデータの抽出などの基本操作、SQLによるデータベース操作とデータベース設計	42時間
		HTML5・CSS	HTML5の概要、HTMLの作成、CSSの読込と作成、画像の表示、jQueryの読込	60時間
		Javaプログラミング	プログラミングの基礎（変数、分岐、ループ、配列等）、Java言語文法、オブジェクト指向プログラミング（継承、多態性、カプセル化等）、プログラム作成演習	66時間
		PHP・MySQL	PHP言語の基本（変数、演算子、if文、ループ処理など）基本操作（HTTPヘッダ、メール操作、ファイル操作など）PHPからMySQLへの接続とデータ操作	60時間
		IoT	ワンボードコンピュータであるIchigoJamを用い、はんだ付けなどボード上での組立といったハードウェアの作成から、BASIC言語でプログラミングを行いIoTデバイスの企画から実現までを目指す	36時間
		開発演習	グループ形式による、要求分析、スケジュール管理、開発手順、設計、実装、テストといった開発工程演習、WebプログラミングまたはJavaによるプログラミング技術の習得	90時間
		デザイン演習	Illustratorによるデザインの基本、簡単なロゴ作成	12時間
		写真デジタル加工	Photoshopによる写真加工技術の基本	15時間
	訓練時間総合計　６４８時間（学科１９８時間、実技４５０時間）			

主要な機器設備 （参　　考）	パソコン、レーザープリンタ、ネットワーク/インターネット環境、プロジェクタ

図３　改善後のカリキュラム（建設分野）

訓練科名	インテリアコーディネーター・CAD養成科	就職先の 職　務	住宅設備機器ﾒｰｶｰやｲﾝﾃﾘｱ関連販売店、住宅・建設会社・設計事務所でのｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰまたはCADｵﾍﾟﾚｰﾀｰ業務
訓練期間	平成29年3月9日～平成29年8月8日 （5カ月コース）		
訓練目標	①社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーションスキルを習得する ②インテリア関連の基本的な法規・規格・基準、人間工学、室内環境、内装工事材料の種類や特徴、色彩などのコーディネートを習得し、プレゼンテーションの基礎を学ぶ ③建築に関する基礎知識やCADによる図面作成の基礎的知識・技能を習得する ④就職活動力の養成		
仕上がり像	建築に関する基礎知識や、インテリア・住宅・商品に関する幅広い知識・専門的な技術などを有し、しっかりとヒヤリングし、その要望を基にプランニングし図面・立体モデルなどを作成しプレゼンテーションすることができる。		

訓練の内容	科目		科目の内容	訓練時間
	学科	入所式等	入所式、オリエンテーション、修了式	
		インテリア商品と販売基礎	インテリアコーディネーターに関する知識、コンサルティング手法、マーケティング、インテリアの歴史、建築構造の知識、インテリア商材についての知識、仕事の流れ等	42時間
		インテリア計画と技術基礎知識	インテリアの歴史、人間工学、福祉住環境、色彩、リフォームに関する知識、インテリア設計・平面計画、インテリアエレメント、室内環境、住宅設備、内装材・建材、造作、室内装飾、インテリアオーナメント、エクステリア、インテリアの構造・構法に関する知識、インテリア・環境工学、インテリア住宅設備、インテリア関係の法規・規格・制度、インテリアコーディネーションの表現等	192時間
		コンピュータ基礎知識	システムの取り扱い、ファイル管理の基礎知識、システム・ファイル形式、圧縮ファイル、Jw_CADでの安全対策、VDT作業における安全衛生管理、個人情報保護法	9時間
		社会人基礎能力	自己分析、仕事理解、職業人講話、職場見学、コミュニケーション、ビジネスマナー、キャリア形成の必要性、仕事に対する基本姿勢、ストレスマネジメント等	54時間
		就職支援	就職活動の基礎、履歴書・職務経歴書の作成、キャリア・コンサルティング、面接対策	51時間
	実技	CAD製図演習	2次元CAD基本作図コマンド、編集コマンド、レイヤ、平面図、敷地図と面積図、設備図等、演習問題、3次元CAD基本操作、間取りプラン作成、パーツ作成、プレゼンボード作成	102時間
		プレゼンテーション実習	各種図面の作成方法（平面図・展開図・パース）、プランニング、プレゼンテーション、プレゼンボード作成等	51時間
		インテリアコーディネーター基礎実習	演習問題、模擬試験、試験対策等	42時間
		オフィスソフト実習	Windowsの基礎知識、Word2010・Excel2010・Power Point2010の基本操作、ビジネスに活用できる文書作成、帳票作成等	72時間
	訓練時間総合計　615時間（学科348時間、実技267時間）			

主要な機器設備 （参　考）	パソコン一式、Microsoft Office2010、CADソフト（Jw_cad）、住宅・建築プレゼンテーションソフト（3Dマイホームデザイナー）

検証訓練の実施に当たっての受講生募集活動の取組みについては図４のとおりである。

図４　受講生募集活動の取組について

１　紙媒体による広報

募集チラシを福井県内ハローワークに備え付けを依頼し、対応していただいた。

また、ふくいジョブカフェ、各市町の窓口、県内公立図書館、県内商工会議所、民間大型店舗等に備え付けを依頼、子育て中の女性対象に各市町子育て支援担当課と子育て支援センターにも備え付けを依頼した。

受講生募集チラシ

２　ホームページによる広報

福井労働局、福井県、(一社)福井県情報システム工業会、福井県インテリア事業協同組合のホームページに募集情報の掲載、リンクを依頼し対応していただいた。

福井職業能力開発促進センター、実施機関のホームページに募集情報を掲載した。

３　ハローワークとの連携による広報

各ハローワーク窓口へ受講者募集に係る募集内容･募集期間等についての説明と雇用保険受給者説明会(ハローワーク主催)での訓練方法や訓練内容等の説明・個別相談対応。

４　地域の情報紙による広報

タウン情報誌「ｆｕ」　１月号･2 月号(毎月第 4 火曜日 206,500 部発行)

タウン情報誌「Ｆａｍｉｌｅ」2017.1.25 号(毎週水曜日 178,000 部発行)

５　ハローワーク雇用保険説明会による広報

福井(12/22、1/12、1/22、1/26、2/9)・武生(12/21、1/11、1/25、2/8、2/22)・三国(1/30)

ハローワークの雇用保険説明会に参加し訓練方法や訓練内容等説明し質疑に対応。

受講生募集後、入所選考（筆記及び面接）を行い、その結果に基づき受講水準に達した者に対し入所を許可し、訓練を開始した。

受講生確保のための広報活動については、福井労働局等と連携の上取り組んだ結果 2 分野とも定員を上回る応募者があり、各科の定員 20 人の入所で訓練を開始した。

図 5　応募・入所等の状況

訓練科名	募集期間	選考日	訓練期間	訓練開始日	訓練終了日	定員	応募者数（うち女性）	応募倍率	入所者数（うち女性）	定員充足率
ＩＴ技術マスター科	H28.12.19～H29.2.7	H29.2.9	6ヶ月	H29.2.23	H29.8.22	20人	35人（19人）	1.75倍	20人（13人）	100%
インテリアコーディネーター・ＣＡＤ養成科	H29.1.4～H29.2.22	H29.2.24	5ヶ月	H29.3.9	H29.8.8	20人	21人（14人）	1.05倍	20人（14人）	100%

図 6-1　入所者年齢構成（情報分野）

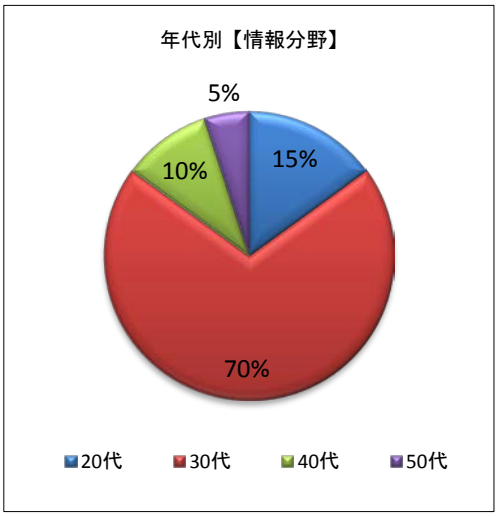
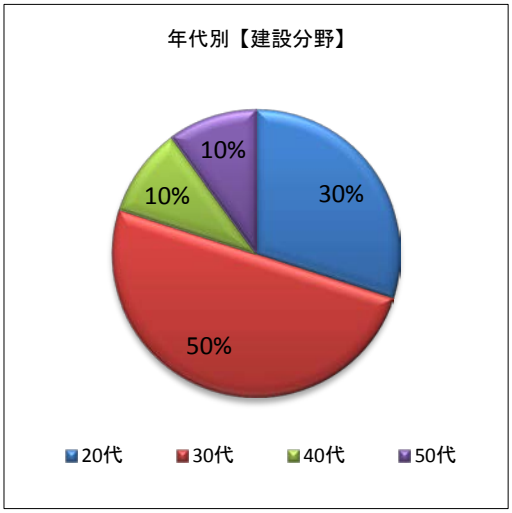


図 6-2　入所者年齢構成（建設分野）



訓練を実施した結果、情報分野の訓練では、中退者数は体調不良による理由で 1 人、修了者数は 19 人で 18 人が就職し、就職率は 94.7%の結果となった。

建設分野の訓練では、中退者数は 0 人、20 人全員が修了し、19 人が就職、就職率は 95.0%の結果となった。

図 7　訓練実施結果一覧

訓練科名	定員	入所者数（うち女性）	中退者数（うち女性）	中退就職者数（うち女性）	修了者数（うち女性）	修了就職者数（うち女性）	就職率	関連就職率
ＩＴ技術マスター科	20人	20人（13人）	1人（1人）	0人（0人）	19人（12人）	18人（11人）	94.7%	66.7%
インテリアコーディネーター・ＣＡＤ養成科	20人	20人（14人）	0人（0人）	0人（0人）	20人（14人）	19人（13人）	95.0%	52.6%

５　検証方法

図 8 の調査項目から次の 4 点の視点による検証を行った。

図 8　調査項目

項目番号	調査項目	調査結果（情報）	調査結果（建設）
①	応募者に対する広報活動に関するアンケート	図 9	図 15
②	受講生に対する訓練の改善・見直しの為のアンケート	図 10・12・13	図 16・18・19
③	資格試験結果	図 11	図 17
④	就職状況報告書	図 14	図 20

1	受講生募集段階の課題	受講生募集の取組により、多くの受講申込者の確保に繋げることができたか。また、定員設定は適切であったか。 調査項目：①　参照
2	訓練実施段階の課題	コンソーシアムにおいて開発した訓練コースの訓練到達目標等に対し、技能の習得状況が当初のねらいどおりになっているか。 調査項目：②・③　参照
3	就職活動段階の課題	検証訓練の内容が、求職者の再就職に向けて効果的なものとなっているか。より就職可能性の高い訓練コースとなっているか。 調査項目：②・③・④　参照
4	全体での課題	コンソーシアム事業が終了する年度の翌年度以降、委託訓練等として実施することは可能か。カリキュラム等を見直す点はないか。

６　検証結果

６－１　情報分野

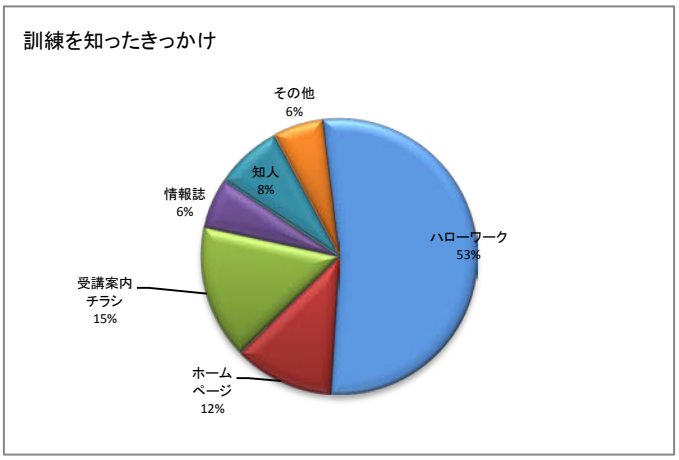
（１）受講生募集の取組みにより、多くの受講生の申込者確保に繋げることができたか。また、定員設定は適切であったか。

（検証結果）

県内各ハローワーク窓口へ訓練の実施目的や訓練内容等説明に訪問したり県内公共機関・量販店及び特に子育て中の女性にも情報を得られるよう県市町行政の子ども関係担当課や子育て支援センター等にも募集チラシを配布した。

ハローワーク窓口担当の積極的な誘導もあり、その結果定員 20 人に対し 35 人が応募した。検証訓練の開講が 2 月であり福井県の委託訓練が実施されていない時期のため募集定員を上回る応募があったと思料され、開講時期も重要な要素であり、定員については適切であった。

図 9　広報活動成果



（２）コンソーシアムにおいて開発した訓練コースの訓練到達目標等に対し、技能の習得状況が当初のねらいどおりになっているか。

（検証結果）

受講生に対して技能の習得度について調査を行ったところ「できた」「だいたいできた」の回答が大半であったが、「Ｊａｖａプログラミング」「ＰＨＰ・ＭｙＳＱＲ」「ＩｏＴ」の 3 科目について半数余の訓練生が「できなかった」「あまりできなかった」と回答した。（図 10-1）

多くの受講生が未経験だったため高度な内容の習得が困難となり、「あまりできなかった」「できなかった」の回答も見受けられたと推定される。

訓練実施機関によると、訓練の日別計画においてホームページ関係と同時にデザイン実習・写真デジタル加工の訓練を組んだが、ホームページ関係の訓練の前にデザイン実習・写真デジタル加工の訓練を組んだ方が学びの順序として取り組みやすかったためと推定される。

実施機関による職業能力証明（訓練成果・実務成果）シートでは、「Ｊａｖａプログラミング」、「ＰＨＰ・ＭｙＳＱＲ」、「ＩｏＴ」の科目の中の一部（プログラミング、ソフトウェアコードの不具合の特定及び修正）が到達水準に達していない受講生が半数余と評価されているが、その他の科目については大半の受講生が到達水準に達した評価となっている。（図 10-2）

情報基礎、ＨＴＭＬ５、デザイン・写真デジタル加工等が関係する資格試験の結果は、それぞれの試験において受験者の 80%以上が合格している。（図 11）

以上の調査結果から、訓練到達目標に対する技能の習得状況は概ね当初のねらいどおりになったと考えられる。

図 10-1　技能の習得度（受講生に対するアンケート）

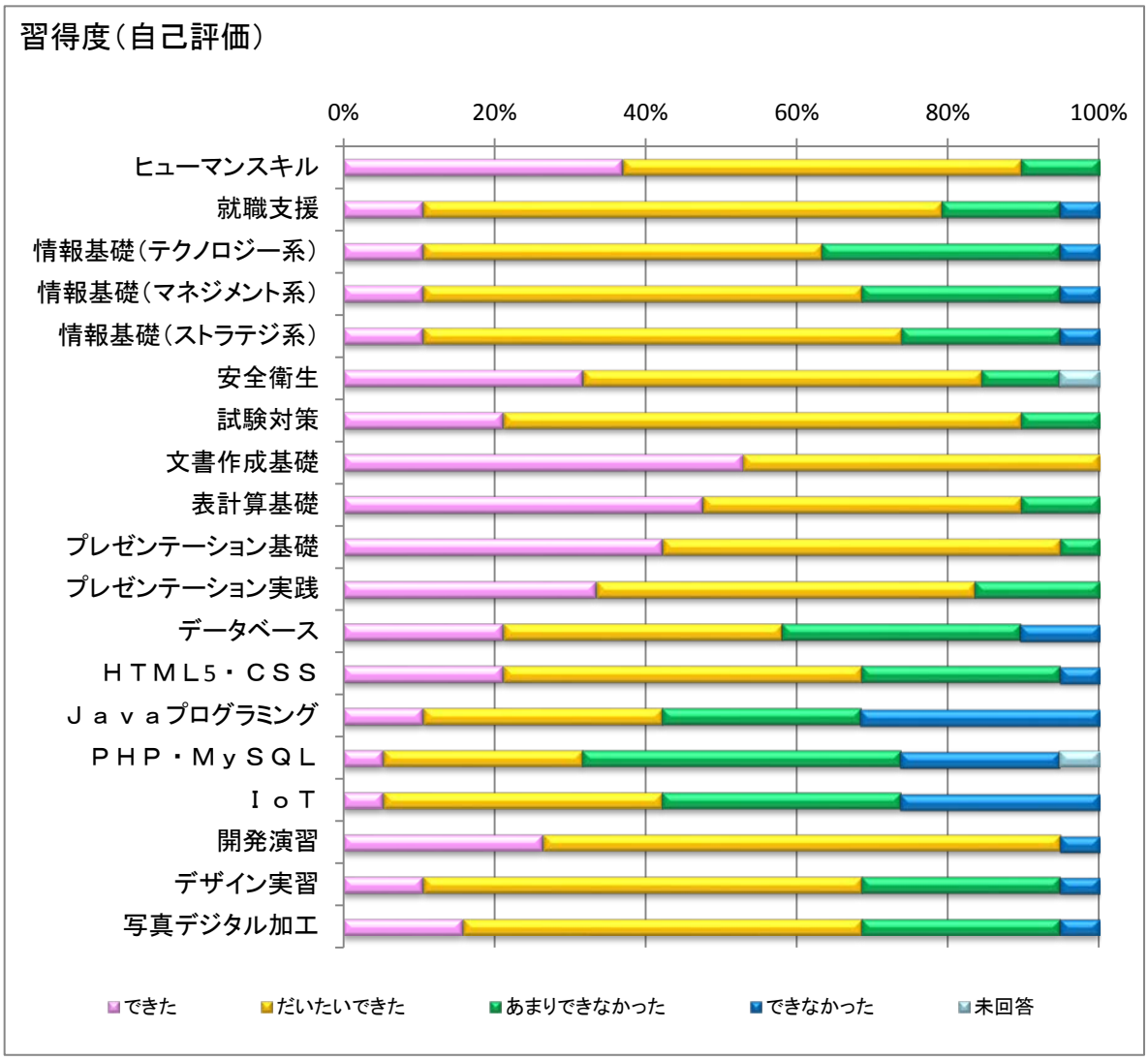
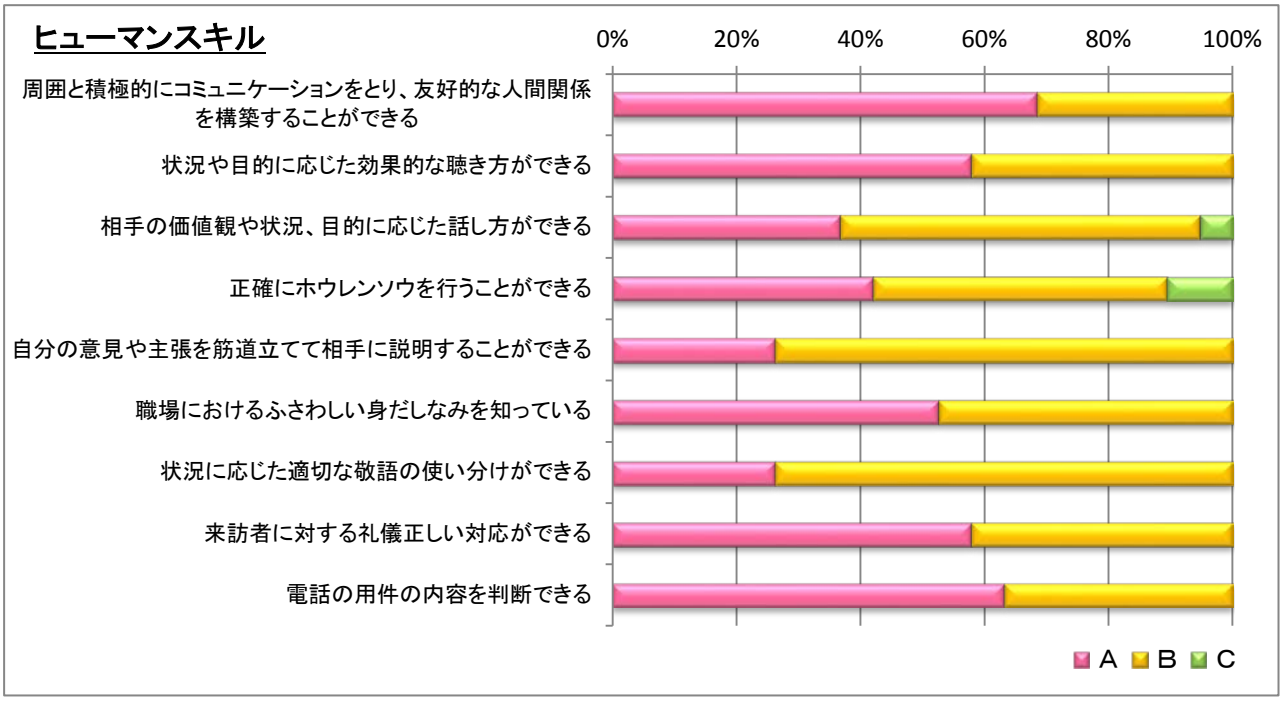
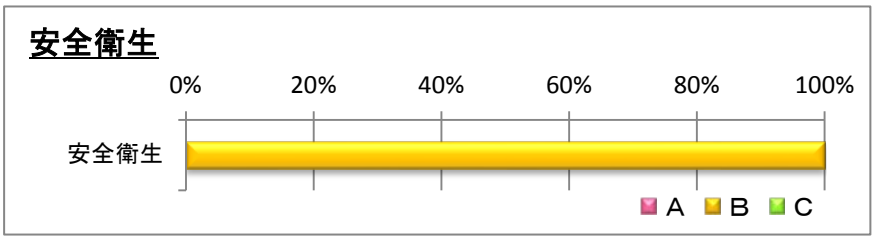
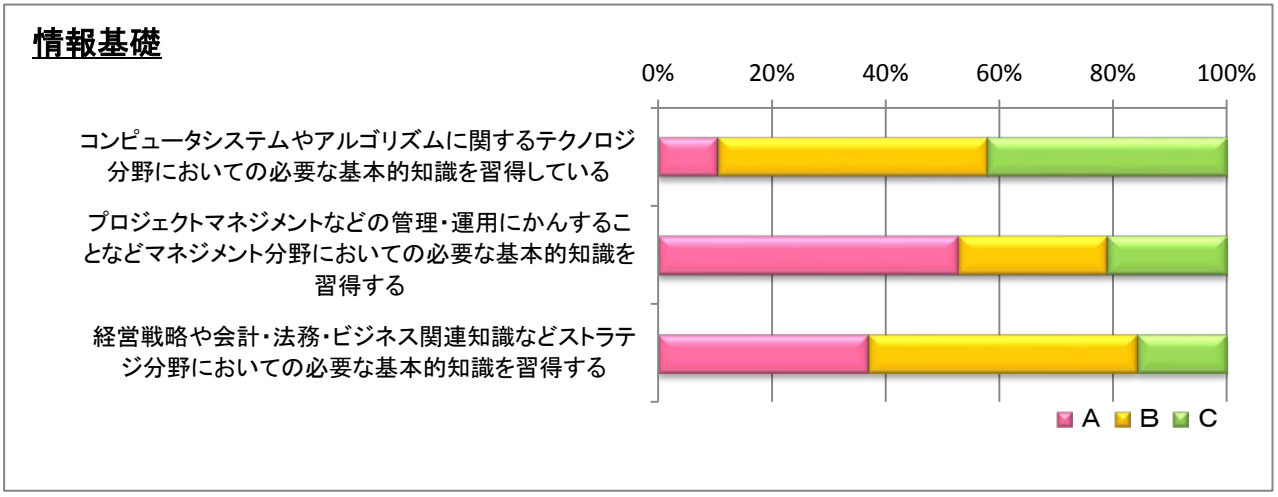


図 10-2　実施機関が行った受講者の習得度評価結果

Ａ：到達水準を十分に上回った　Ｂ：到達水準に達した　Ｃ：到達水準に達しなかった

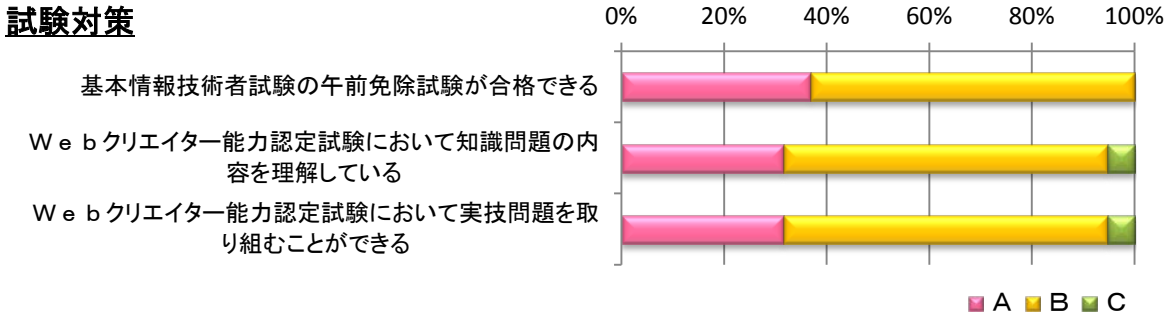




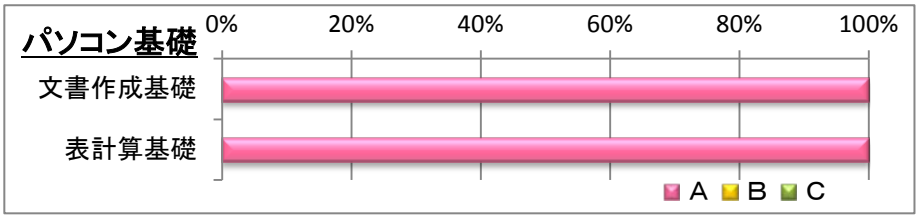


Ａ：到達水準を十分に上回った　Ｂ：到達水準に達した　Ｃ：到達水準に達しなかった

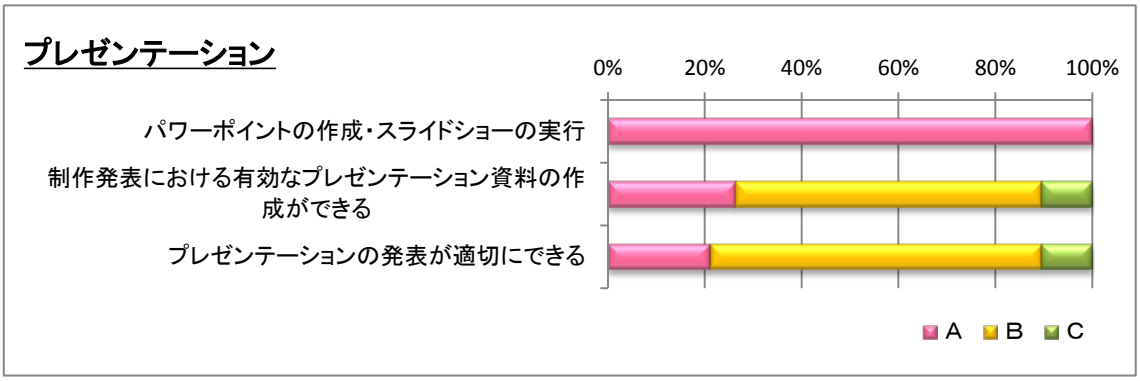
試験対策



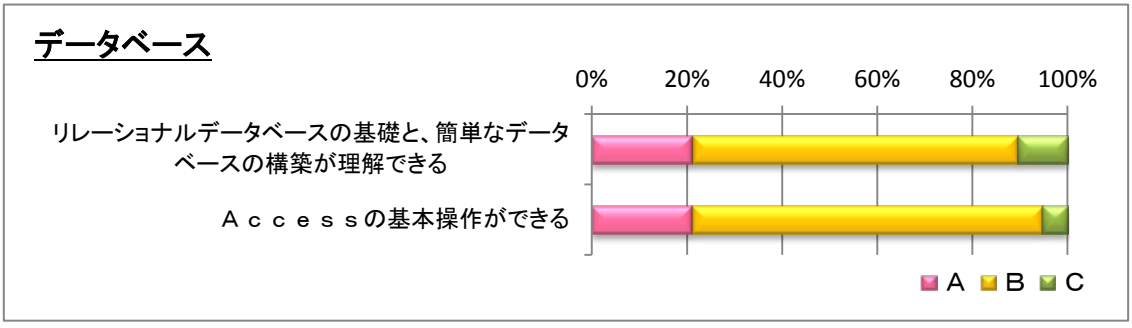
パソコン基礎



プレゼンテーション



データベース



HTML5・CSS

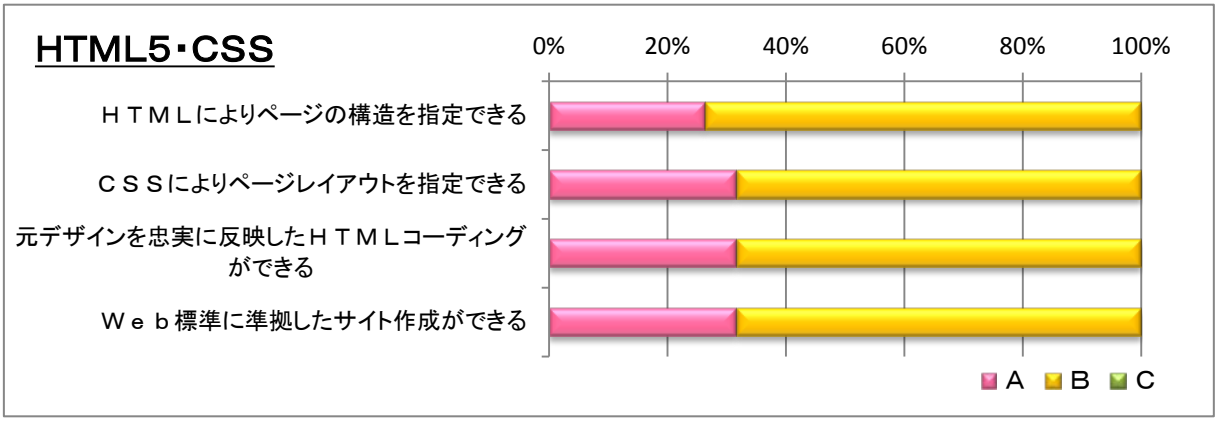
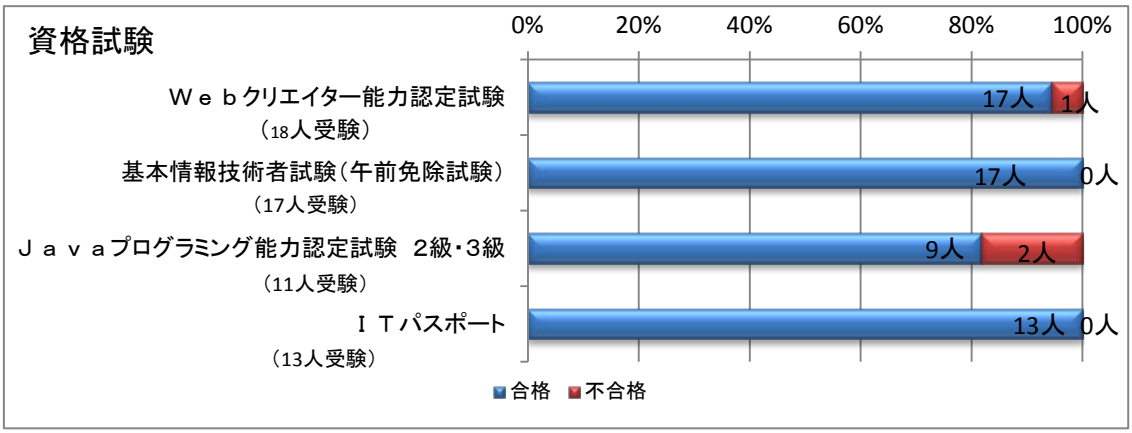


図 11　資格試験結果



※訓練受講生 19 名うちＷｅｂクリエイター能力認定試験の有資格者　1 名

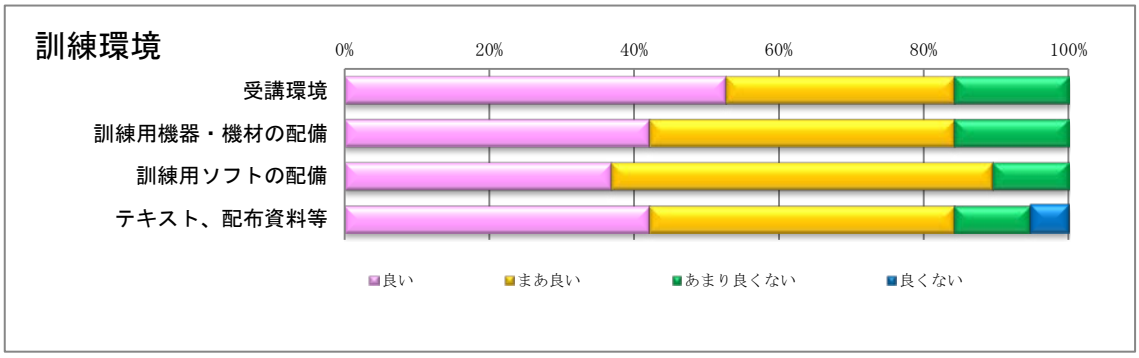
（３）検証訓練の内容が、求職者の再就職に向けて効果的なものとなっているか。

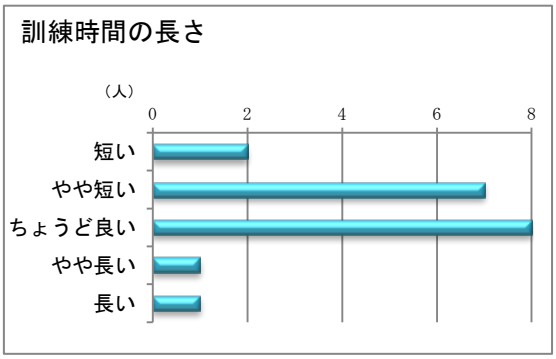
（検証結果）

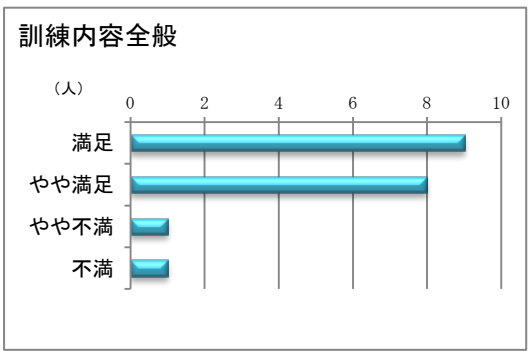
イ　訓練内容の満足度

受講生に対して、訓練内容の満足度を訓練環境、訓練時間の長さ、訓練内容全般について調査を行ったところ、訓練環境については「良い」「まあ良い」が 85～90%、訓練時間の長さは「やや長い」「ちょうど良い」「やや短い」が 84%、訓練内容全般では「満足」「やや満足」が 89%であった。

図 12　訓練内容（受講生に対するアンケート）



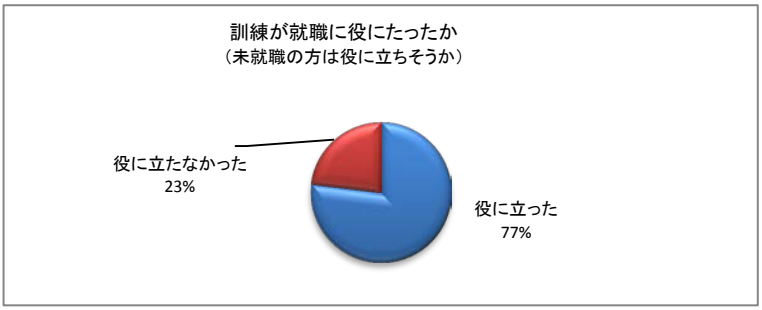




ロ　職業訓練の就職への役立ち度

修了生に対して、職業訓練の就職への役立ち度について調査を行ったところ、「役に立った」が 77%、「役に立たなかった」が 23%であった。

図 13　就職への役立ち度（受講生に対するアンケート）



【役に立った】

・仕事につながる技能、知識がみについた

・訓練内容が自分の希望に合っていた

【役に立たなかった】

・実践的な内容ではなかった

・経験が必要な職種だった

【フリーコメント】

・資格取得のみに重点を置かず、実践的なフォローや仕事につながる技能も重視して欲しかった。

・事務系を考える者としては、ＩＴがすすんでも基本の簿記知識も強化する訓練を考えてほしい。

・非常に充実した半年間だった。

図 14　修了後の就職状況

	就職者数	就職率	関連就職者数
修了日	0 人	0%	0 人
1 ヶ月後	4 人	21.1%	4 人
3 ヶ月後	18 人	94.7%	12 人

※修了者数　19 人（内 1 人は修了後長期療養の為就職活動不可）

訓練休をほぼ毎週平日に 1 日設けて、ハローワークへ通う等の就職活動を行いやすい計画を組んだものの、修了日までは訓練科目の習得や試験勉強に集中する傾向が強かったことと、修了後の約 1 ヶ月半後に行われる基本情報技術者試験を半数の訓練生が受験申し込みをして試験勉強を優先しており、また、関連就職や希望条件を優先して就職活動を進めていたため、修了時と 1 ヶ月後の就職率は伸び悩んでいたと推定される。

その後、実施機関のサポートにより修了 3 ヶ月後の時点では修了者数 19 人中 18 人が就職することができた。(1 人は長期療養のため就職活動不可)

10 月 15 日に行われた基本情報技術者試験は 19 人中 17 人が受験し、実施機関が試験勉

強のために教室を開放して訓練生の学習サポートを行った。その際にも訓練生の状況把握に努め、資格取得が最終目標にならないように心掛けている。

自ら就職活動の相談の連絡をしてくる訓練生もいたが、殆どは実施機関の営業担当者が定期的に連絡を入れ就職先の斡旋を行った。訓練生への密な連絡、状況把握が最終的に就職率の上昇につながったと思慮される。

就職を有利にするための資格取得だが、その活用よりも資格取得そのものに集中しがちと見受けられる部分もあるため、訓練生が就職活動に意識を向ける様な就職支援の時間を初期の段階から組み込むことが望まれる。

訓練生の１人は、修了後に長期療養の必要が発覚したため就職活動の継続は難しくなったが、入院治療の合間に他の訓練生や講師の協力も得ながら準備を進め、前職の医療の知識を活かした「一次救命」をテーマに「北陸イノベーショントライアルＨＩＴ2017」（ＩＣＴ（情報通信技術）を利活用した発表会）に出場し、ビジネス部門最優秀賞を受賞して全国大会出場権も獲得した。残念ながら今回の訓練がすぐに就職に結びつくことはなかったが、入所時は全くＩＴの知識がなかった訓練生がここまでの知識を身につけることができた点は、半年間の訓練で未知の分野の開拓という本人の努力も然ることながら、講師の指導力や身につけた技能を使い新たなことにチャレンジする気持ちを促す実施機関の働きかけが大きかったものと思われる。

以上の調査結果から、就職可能性の高い訓練コースであると思料される。

（４）コンソーシアム事業が終了する年度の翌年度以降、委託訓練等として実施することは可能か。カリキュラム等を見直す点はないか。

（１）から（３）までの検証結果を踏まえ、より就職可能性の高い訓練コースとするために、いくつかの改善点を提案する。

イ　カリキュラム

① 就職基礎能力

職場見学や職業人講話の候補企業が複数あり、就職支援の時間内に実施することが難しかったため訓練時間外に希望者に実施したが、仕上がり像として設定しているスキルや職務を意識しながら受講できるよう、訓練初期に授業に組み入れる。

② デザイン実習・写真デジタル加工

開発演習前に設定し、ホームページ作成の際の写真加工やイラストレーター使用に支障が出ないようにする。

③ ＩｏＴ

ＩｏＴを活用した企画や実装まで想定していたが、技術面で実装まで実現するのは訓練期間・内容からは難しいため、職業人講話や学科の中で実例などを学ぶレベルでの設定が望ましい。

ロ　受講生募集

今回は開発者のみではなく、エンドユーザーでの就職も視野に入れる幅広い訓練を目標にしたが、今後、習得度を上げるためには、コンピュータ職としての適正を判断するＣＡ

Ｂ適正検査の一部を入所選考時に取り入れたり、若年層を対象にする等の選考基準を設けた方がカリキュラムどおりのＩＴ業界が必要としている人材育成の訓練を実施することができると考えられる。

６－２　建設分野

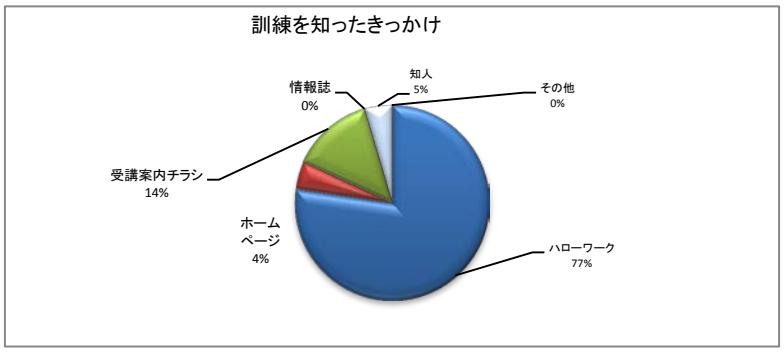
（１）受講生募集の取組みにより、多くの受講生の申込者確保に繋げることができたか。また、定員設定は適切であったか。

（検証結果）

県内各ハローワーク窓口へ訓練の実施目的や訓練内容等説明に訪問したり県内公共機関・量販店及び特に子育て中の女性にも情報を得られるよう県市町行政の子ども関係担当課や子育て支援センター等にも募集チラシを配布した。

ハローワーク窓口担当の積極的な誘導もあり、その結果定員 20 人に対し 21 人が応募した。検証訓練の開講が 3 月であり福井県の委託訓練が実施されていない時期のため募集定員を上回る応募があったと思料され、開催時期も重要な要素であり定員については適切であった。

図 15　広報活動成果



（２）コンソーシアムにおいて開発した訓練コースの訓練到達目標に対し、技能の習得状況が当初のねらいどおりになっているか。

（検証結果）

受講生に対して技能の習得度について調査を行ったところ、「できた」「だいたいできた」の回答が過半数以上であった。（図 16-1）

就職支援・プレゼンテーション実習・インテリアコーディネーター基礎実習科目は「あまりできなかった」「できなかった」と回答する訓練生が 30%余あった。訓練設定時間が短いと感じる訓練生が多く、習得度が低いと回答する結果につながったと思料される。

訓練実施機関では就職支援については面接の練習や応募書類の書き方等、到達水準に達していると評価している（図 16-2）が、受講生は訓練期間中に試験勉強で就職活動が思うようにできず就職の結果を出すことができなかったため、学んだことが活かせていると感じにくかったようであり、「できなかった」という自己評価結果につながったのではないかと推定される。

自己評価の低かった訓練生はプレゼンテーション科目では自身の経験値に対して慣れるための時間が短かかったことと、インテリアコーディネーター科目では、資格取得を目標にしていたため試験対策の時間が短いと感じるほか、資格試験が訓練修了から 2 カ月以上期間が空くため、資格を活かして就職活動をしたり試験日までのモチベーションを保つことが難しいことなどから習得度の悪さの回答につながったと思料される。

インテリアコーディネーター一次試験の試験結果に関しても 10 人の受験者に対して

2 人のみの合格だった。(図 17) その後 12 月に行われた二次試験は 2 人とも合格している。

実務重視を目標とした訓練生からは、資格試験がメインだったので実務に役立つ内容や、もっと興味を深める内容にして欲しかったという感想が届いている。

資格試験の結果に関しては、ＣＡＤは 3 級が 12 人の受験者の内 10 人合格し、2 級は 4 人の受験者全員が合格している。福祉住環境は 3 級、2 級共に受験者全員が合格している。

以上の調査結果から、訓練到達目標に対する技能の習得状況は対象科目の訓練時間を増やして概ね当初のねらいどおりになったと考える。

図 16-1　技能の習得度（受講生に対するアンケート）

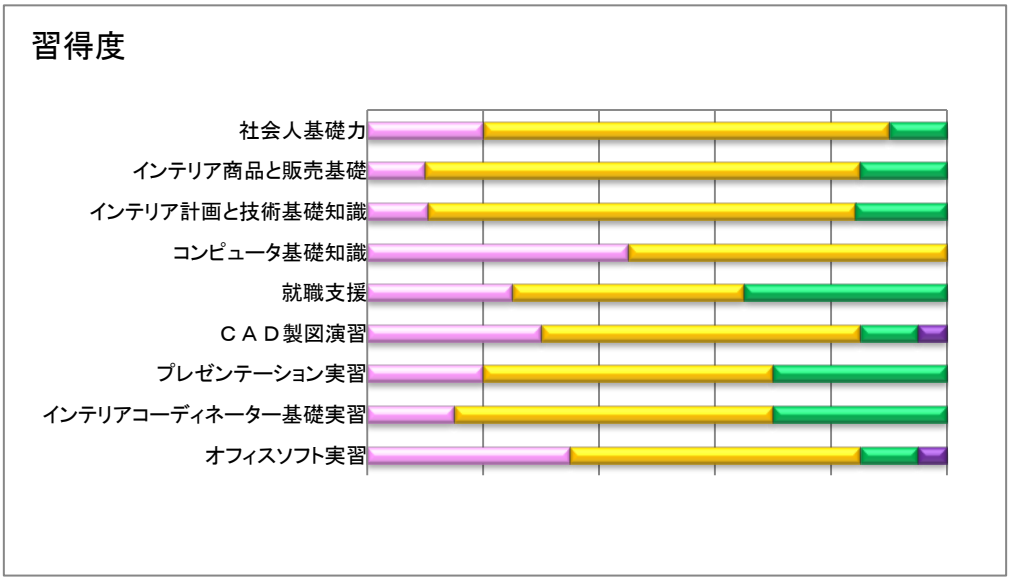
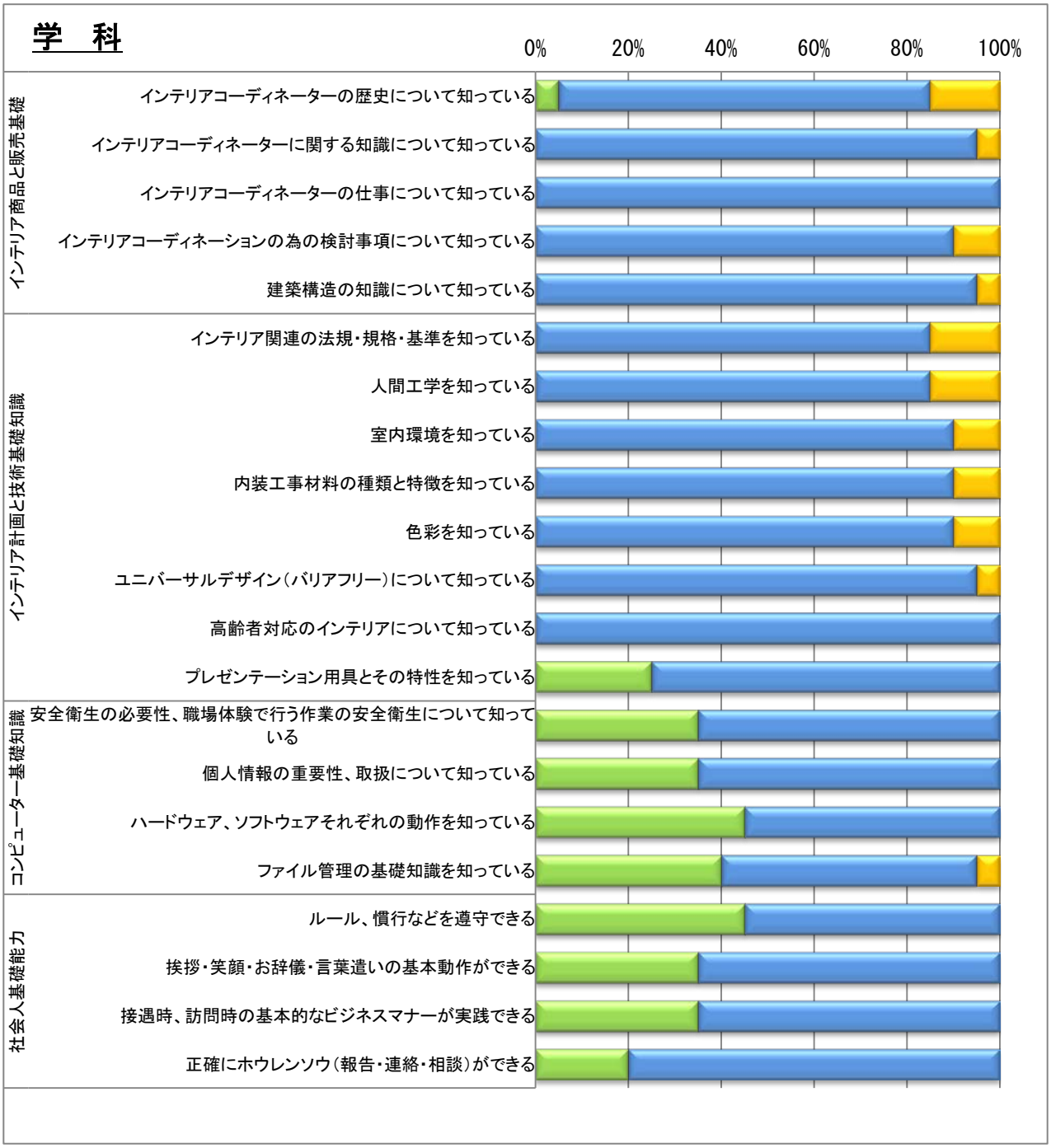


図 16-2　実施機関が行った受講者の習得度評価結果

Ａ：到達水準を十分に上回った　Ｂ：到達水準に達した　Ｃ：到達水準に達しなかった



Ａ：到達水準を十分に上回った　Ｂ：到達水準に達した　Ｃ：到達水準に達しなかった

実　技

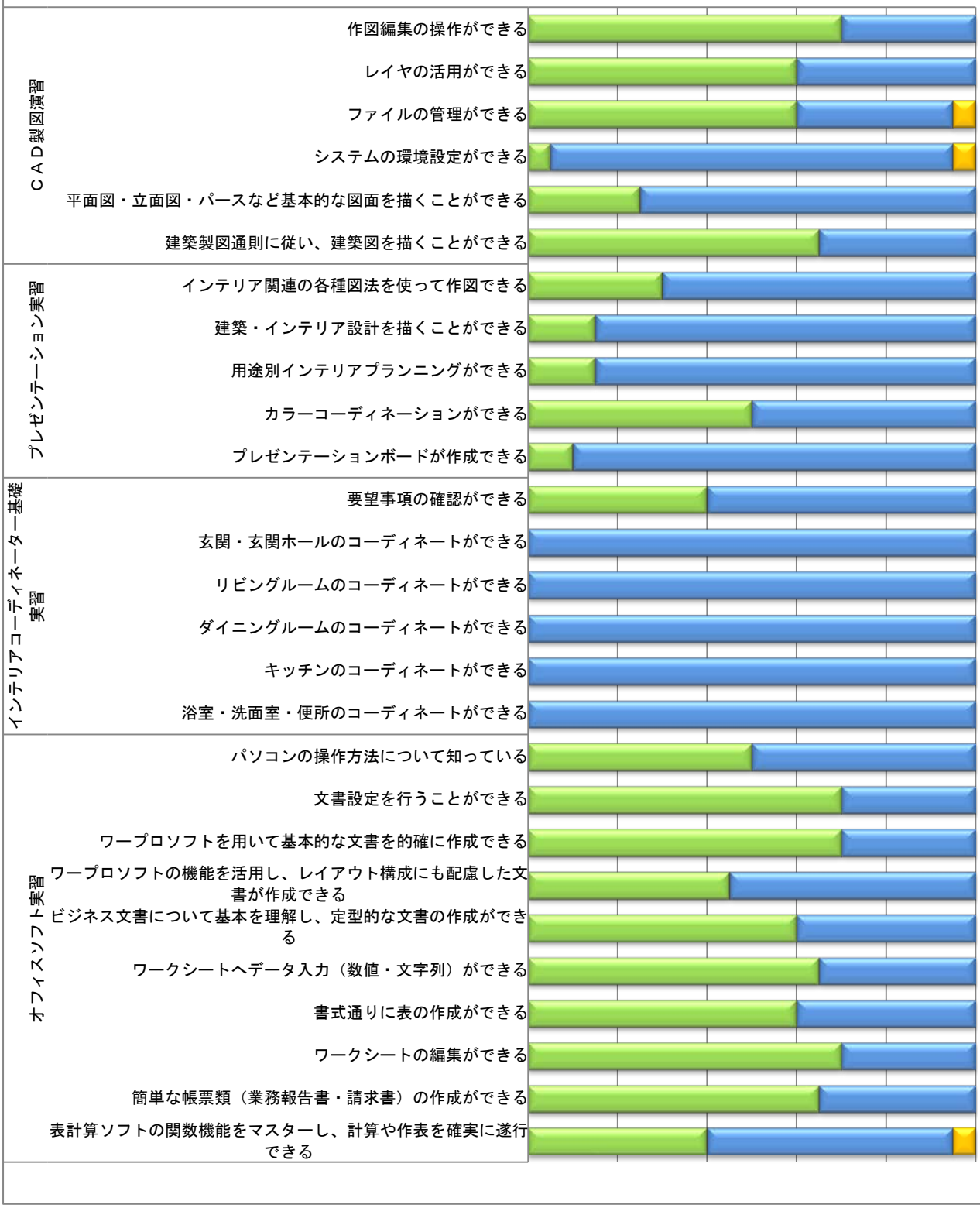
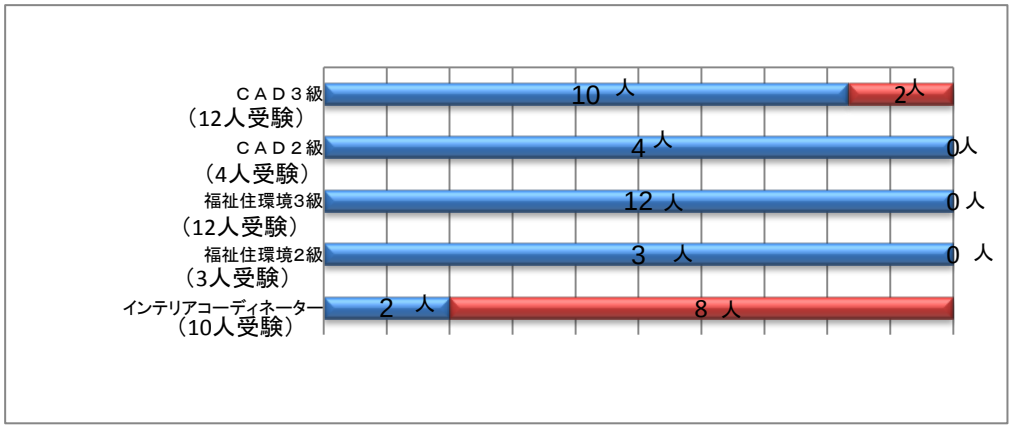


図 17　資格試験結果



※訓練受講生 20 名のうちインテリアコーディネーターの有資格者　1 名

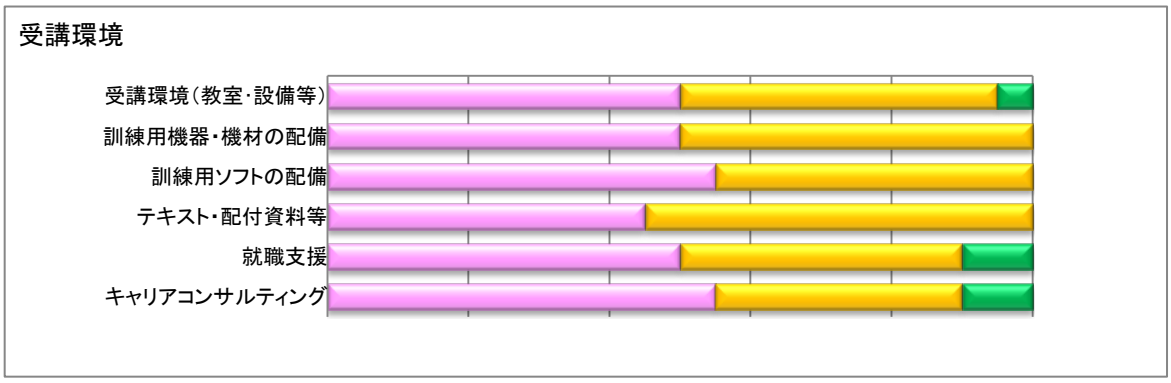
（３）検証訓練の内容が、求職者の再就職に向けて効果的なものとなっているか。

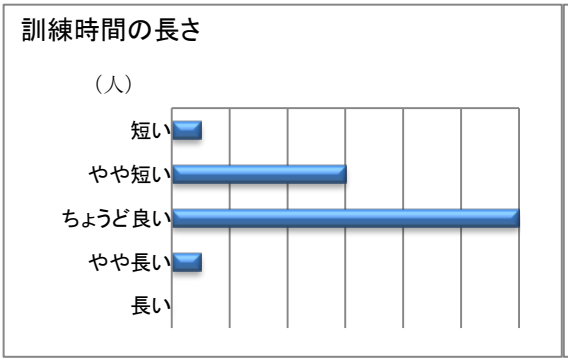
（検証結果）

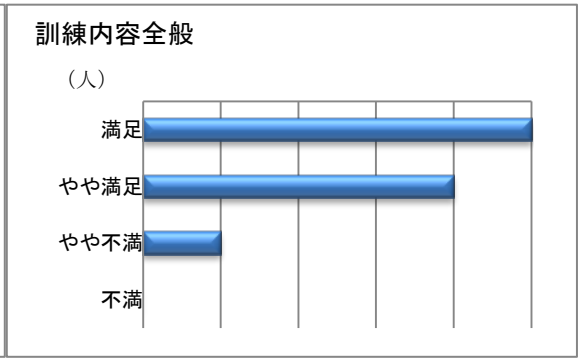
イ　訓練内容の満足度

受講生に対して、訓練内容の満足度を受講環境、訓練時間の長さ、訓練内容全般について調査を行ったところ、訓練環境については「良い」「まあ良い」90～100%、訓練時間の長さは「やや長い」「ちょうど良い」「やや短い」で 95%、訓練内容全般では「満足」「やや満足」が 90%であった。

図 18　訓練内容（受講生に対するアンケート）

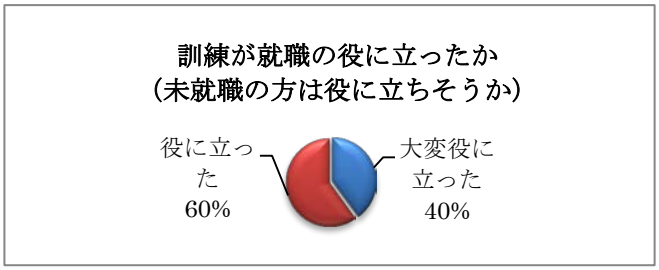






ロ　職業訓練の就職への役立ち度

図 19　就職への役立ち度（受講生に対するアンケート）



【役に立った】

・仕事につながる技能、知識が身についた

・訓練内容が自分の希望に合っていた

【フリーコメント】

・試験に合わせた修了を考えてほしい。訓練はテスト対策だったので、試験日に合わないなら内容を深めてほしかった。

図 20　修了後の就職状況

	就職者数	就職率	関連就職者数
修了日	4 人	20.0%	3 人
1 か月後	12 人	60.0%	8 人
3 ヶ月後	19 人	95.0%	10 人

※修了者数　20 人

以上の調査結果から求職者の再就職に向けて効果的なものであったと考えられる。

（4）全体の課題として(1)から(3)までの検証結果を踏まえ、より就職可能性の高い訓練コースとするために、いくつかの改善点（図 21）を提案する。

イ　カリキュラム

①　インテリアコーディネーター

学科の講義中の集中力を持続させるために、現場やショールーム見学の時間を設ける事や、スケジュール的にもう少し時間を分散させる事が必要である。

実技関連においては論文対策、作図対策共に殆どの受講生が未経験の為文書をまとめること、回答例などの図面を繰り返しトレース（手書きで複写）する訓練時間を増やす。

②　ＣＡＤ

建築ＣＡＤ検定試験 2 級程度の技能を取得するには不都合が見受けられた。

試験内容に「自らの持つ建築知識をもとに、ＣＡＤシステムを使って建築図面を作成する実力を問う」となっているが、建築知識はＣＡＤ製図演習の授業に含まれておらず、急遽説明の時間を設けたが十分な時間ではなかった。

また、ＣＡＤ製図演習の講義が試験の 1 ヵ月ほど前に修了したため、2 級受験を断念した訓練生もいた。

これらの事から試験実施日を建築基礎知識がある程度理解している訓練修了間際に実施することと、試験間際までＣＡＤの授業が行われるように設定する。

加えて、建築ＣＡＤ検定試験２級対策用に製図の基礎に関するテキストを増やす。

③　パソコン関連

募集チラシに取得可能な資格をＷｏｒｄ、Ｅｘｃｅｌ共に 3 級と記載していたが、2 級を希望する訓練生が多くテキストが不十分であったため、配布資料などで補う必要があった。パソコンがメイン科目ではないが、ＷｏｒｄやＥｘｃｅｌの知識は多くの企業で必要とされるため、2 級に対応したカリキュラムになるようテキストも追加し 2 級取得を目指す。

また、ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔの時間が短いという声も多いことから、オフィスソフト実習の時間数を増やす。

ロ　訓練時期

インテリアコーディネーター資格試験が訓練修了 2 ヶ月後で、試験を受ける訓練生にとってはモチベーションの持続や、資格取得前により就職活動ができない等の不都合があったため、資格試験と訓練修了の時期を考慮する。

入所から試験の申込時期までの時間が短い場合は、入所面接やオリエンテーションで取得資格について予め説明をする。

以上の検証を踏まえたカリキュラムは、図 21 のとおりである。

図 21　　改善後のカリキュラム（情報分野）

訓練科名	IT技術マスター科	就職先の 職　務	Webプログラマ、 Webページ制作者、システムエンジニア、セールスエンジニア、社内システム担当者、社内IT エキスパート、技術サポートエンジニア
訓練期間	訓練期間中に基本情報技術者試験に対応した期間にすること（6ヶ月）		
訓練目標	①IT技術の全般的な知識を身につけ、【基本情報技術者試験・ 午前免除試験 】の合格を目指す。 ②Webページの制作技術とWebアプリケーション作成の技能を習得する。 【Webクリエータ能力認定試験】の合格を目指す。 ③Javaでのプログラミング言語・技術を習得する。 （【Javaプログラミング能力認定試験 】対応可） ④社会人基礎力、コミュニケーションスキルやプレゼンテーションスキルの向上を図る。		
仕上がり像	企業戦略やIoTも含めた幅広いITに関わる知識とコミュニケーション能力をもち、データベースやWeb技術、アルゴリズムとプログラミングが理解できる人材を育成し、IT系企業のハードウェア、ソフトウェアのエンジニア、営業のみならずエンドユーザー側のシステム運用管理者として活躍できるような就職時に幅広く選択できるスキルを身につける。		

		科　目	科　目　の　内　容	時　間
訓練の内容	学科	入所式等	入所式、オリエンテーション、修了式	
		ヒューマンスキル	自己紹介などコミュニケーションの基本とビジネスマナー	30
		就職支援	地域の労働市場等の把握、企業の求める人材、職場見学、キャリア形成の必要性、職業人講話、キャリア・コンサルティング等	42
		情報基礎 （テクノロジー系）	基礎理論、アルゴリズムとプログラミング、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク、セキュリティ、システム開発技術など	60
		情報基礎 （マネジメント系）	プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査	9
		情報基礎 （ストラテジ系）	システム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動、法務	36
		IoT	IoTとは、IoTを活用したビジネス例 ワンボードコンピュータであるIchigoJamを用いたハードウェアの作成、IchigoJamによるIoTビジネスプラン立案	~~0~~　36
		安全衛生	VDT作業と安全衛生	3
		試験対策	Webクリエーター能力認定試験、および基本情報技術者試験の午前免除試験に向けての対策、過去問題演習	18
	実技	文書作成基礎	Wordによるビジネス文書作成、表作成、図形処理などの基本的な文書処理等	15
		表計算基礎	Excelによる、数式の作成、関数の活用、データベース機能、グラフ機能の活用等	24
		プレゼンテーション基礎	PowerPointによる、スライドの作成・作表・グラフ、図形、アニメーションの挿入など基本的な操作習得	12
		プレゼンテーション実践	プレゼンテーション資料の作成、発表	18
		データベース	Accessによるテーブルの作成、フォームやレポートの作成と編集、クエリによるデータの抽出などの基本操作、SQLによるデータベース操作とデータベース設計	42
		HTML5・CSS	HTML5の概要、HTMLの作成、CSSの読込と作成、画像の表示、jQueryの読込	60
		Javaプログラミング	プログラミングの基礎（変数、分岐、ループ、配列等）、Java言語文法、オブジェクト指向プログラミング（継承、多態性、カプセル化等）、プログラム作成演習	66
		PHP・MySQL	PHP言語の基本（変数、演算子、if文、ループ処理など）基本操作（HTTPヘッダ、メール操作、ファイル操作など）PHPからMySQLへの接続とデータ操作	60
		~~IoT~~	~~ワンボードコンピュータであるIchigoJamを用い、はんだ付けなどボード上での組立といったハードウェアの作成から、BASIC言語でプログラミングを行いIoTデバイスの企画から実現までを目指す~~	~~36~~　0
		開発演習	グループ形式による、要求分析、スケジュール管理、開発手順、設計、実装、テストといった開発工程演習、Webプログラミングまたは Javaによるプログラミング技術の習得	90
		デザイン演習	Illustratorによるデザインの基本、簡単なロゴ作成	12
		写真デジタル加工	Photoshopによる写真加工技術の基本	15
訓練時間総合計　６４８時間　（学科~~１９８~~時間、実技~~４５０~~時間）			２３４　　４１４	648
主要な機器設備			パソコン、プリンタ、プロジェクタ、スクリーン	

図 21　　改善後のカリキュラム（建設分野）

訓練科名	インテリアコーディネーター・CAD養成科	就職先の職務	住宅設備機器ﾒｰｶｰやｲﾝﾃﾘｱ関連販売店、住宅・建設会社・設計事務所でのｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰまたはCADｵﾍﾟﾚｰﾀｰ業務 福祉関連企業
訓練期間	訓練期間中にインテリアコーディネーター一次試験に対応した期間にすること（6ヶ月）		
訓練目標	①社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーションスキルを習得する ②インテリア関連の基本的な法規・規格・基準、人間工学、室内環境、内装工事材料の種類や特徴、色彩などのコーディネートを習得し、プレゼンテーションの基礎を学ぶ ③建築に関する基礎知識やCADによる図面作成の基礎的知識・技能を習得する ④就職活動力の養成		
仕上がり像	建築に関する基礎知識や、インテリア・住宅・商品に関する幅広い知識・専門的な技術などを有し、しっかりとヒヤリングし、その要望を基にプランニングし図面・立体モデルなどを作成しプレゼンテーションすることができる。		

訓練の内容		科　目	科 目 の 内 容	時 間
	学科	入所式等	入所式、オリエンテーション、修了式	-
		インテリア商品と販売基礎	(1)インテリアコーディネーターに関する知識 (2)仕事の流れ	~~42~~ 18
		インテリア計画と技術基礎知識	(1)インテリアの歴史 (2)インテリアコーディネーションの計画 (3)福祉住環境 (4)インテリアエレメント・関連エレメント (5)インテリアの構造・構法に関する知識 (6)環境と設備 (7)インテリアコーディネーションの表現 (8)インテリア関係の法規、規格、制度	~~192~~ 141
		コンピュータ基礎概論	(1)パソコンの概要 (2)ファイル管理の基礎知識 (3)VDT作業における安全衛生管理 (4)個人情報保護法	9
		社会人基礎力	(1)自己分析　(2)仕事理解　(3)職業人講話　(4)職場見学 (5)コミュニケーション　(6)ビジネスマナー　(7)キャリア形成の必要性 (8)仕事に対する基本姿勢　(9)ストレスマネジメント	54
		就職支援	(1)就職活動の基礎　(2)履歴書・職務経歴書の作成 (3)キャリアコンサルティング　(4)面接対策	51
	実技	CAD製図演習	(1)2次元CAD基本操作 (2)平面図の書き方基礎 (3)平面図の書き方応用 (4)3次元CAD基本操作 (5)プレゼンボード作成 (6)製図の基礎知識	~~102~~ 120
		プレゼンテーション実習	(1)各種図面の作成方法（平面図・展開図・パース） (2)プレゼンテーション (3)プレゼンボード作成	~~51~~ 90
		インテリアコーディネーター基礎実習	(1)インテリアコーディネーター演習問題 (2)インテリアコーディネーター模擬試験 (3)インテリアコーディネーター試験対策	~~42~~ 75
		オフィスソフト実習	(1)Windowsの基礎知識 (2)Word2010の基本操作 (3)Excel2010の基本操作 (4)Power Point2010の基本操作 (5)Word・Excel・PowerPointの連携 (6)ビジネスに活用できる文書作成、帳票作成、総合問題 (7)試験対策演習	~~72~~ 102
訓練時間総合計			学科 ~~348~~ 273　実技 ~~267~~ 387	~~615~~ 660
主要な機器設備（参考）			パソコン一式、プロジェクター、スクリーン、サブモニター、ネットワーク一式、ソフトウェア一式、（Microsoft Office2010、JW_cad、住宅・建築プレゼンテーションソフト　3Dマイホームデザイナー）	

7　本事業の成果物について

本事業の成果物として上記 6 の検証結果を踏まえ、モデルカリキュラムとして取りまとめた。

資　料

Ⅰ　情報分野

「ＩＴ技術マスター科」関連資料一覧

資料 1-1　委託訓練モデルカリキュラム

資料 1-2　科目の内容・細目シート

資料 1-3　使用教材リスト

Ⅱ　建設分野

「インテリアコーディネーター・ＣＡＤ養成科」関連資料一覧

資料 2-1　委託訓練モデルカリキュラム

資料 2-2　科目の内容・細目シート

資料 2-3　使用教材リスト

資料１－１

委託訓練モデルカリキュラム

訓練科名	IT技術マスター科	就職先の 職　務	Webプログラマ、 Webページ制作者、システムエンジニア、セールスエンジニア、社内システム担当者、社内IT エキスパート、技術サポートエンジニア
訓練期間	訓練期間中に基本情報技術者試験に対応した期間にすること（6ヶ月）		
訓練目標	①IT技術の全般的な知識を身につけ、【基本情報技術者試験・ 午前免除試験 】の合格を目指す。 ②Webページの制作技術とWebアプリケーション作成の技能を習得する。 【Webクリエータ能力認定試験】の合格を目指す。 ③Javaでのプログラミング言語・技術を習得する。 （【Javaプログラミング能力認定試験 】対応可） ④社会人基礎力、コミュニケーションスキルやプレゼンテーションスキルの向上を図る。		
仕上がり像	企業戦略やIoTも含めた幅広いITに関わる知識とコミュニケーション能力をもち、データベースやWeb技術、アルゴリズムとプログラミングが理解できる人材を育成し、IT系企業のハードウェア、ソフトウェアのエンジニア、営業のみならずエンドユーザー側のシステム運用管理者として活躍できるような就職時に幅広く選択できるスキルを身につける。		

訓練の内容	科目		科目の内容	時間
	学科	入所式等	入所式、オリエンテーション、修了式	
		ヒューマンスキル	自己紹介などコミュニケーションの基本とビジネスマナー	30
		就職支援	地域の労働市場等の把握、企業の求める人材、職場見学、キャリア形成の必要性、職業人講話、キャリア・コンサルティング等	42
		情報基礎（テクノロジー系）	基礎理論、アルゴリズムとプログラミング、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク、セキュリティ、システム開発技術など	60
		情報基礎（マネジメント系）	プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査	9
		情報基礎（ストラテジ系）	システム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動、法務	36
		IoT	IoTとは、IoTを活用したビジネス例 ワンボードコンピュータであるIchigoJamを用いたハードウェアの作成、IchigoJamによるIoTビジネスプラン立案	36
		安全衛生	VDT作業と安全衛生	3
		試験対策	Webクリエーター能力認定試験、および基本情報技術者試験の午前免除試験に向けての対策、過去問題演習	18
	実技	文書作成基礎	Wordによるビジネス文書作成、表作成、図形処理などの基本的な文書処理等	15
		表計算基礎	Excelによる、数式の作成、関数の活用、データベース機能、グラフ機能の活用等	24
		プレゼンテーション基礎	PowerPointによる、スライドの作成・作表・グラフ、図形、アニメーションの挿入など基本的な操作習得	12
		プレゼンテーション実践	プレゼンテーション資料の作成、発表	18
		データベース	Accessによるテーブルの作成、フォームやレポートの作成と編集、クエリによるデータの抽出などの基本操作、SQLによるデータベース操作とデータベース設計	42
		HTML5・CSS	HTML5の概要、HTMLの作成、CSSの読込と作成、画像の表示、jQueryの読込	60
		Javaプログラミング	プログラミングの基礎（変数、分岐、ループ、配列等）、Java言語文法、オブジェクト指向プログラミング（継承、多態性、カプセル化等）、プログラム作成演習	66
		PHP・MySQL	PHP言語の基本（変数、演算子、if文、ループ処理など）基本操作（HTTPヘッダ、メール操作、ファイル操作など）PHPからMySQLへの接続とデータ操作	60
		開発演習	グループ形式による、要求分析、スケジュール管理、開発手順、設計、実装、テストといった開発工程演習、Webプログラミングまたは Javaによるプログラミング技術の習得	90
		デザイン演習	Illustratorによるデザインの基本、簡単なロゴ作成	12
		写真デジタル加工	Photoshopによる写真加工技術の基本	15
訓練時間総合計　６４８時間　（学科２３４時間、実技４１４時間）				648
主要な機器設備　パソコン、プリンタ、プロジェクタ、スクリーン				

資料１－２

科目の内容・細目シート

科目	ヒューマンスキル	時間	30時間
到達水準	コミュニケーションの基本(コミュニケーション３要素・傾聴力・クッションワードを使った話の仕方）を知っている。 ビジネスマナー（身だしなみ・立居振舞・敬語・報告相談の仕方・電話対応・接遇対応）を知っている。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（１）コミュニケーションの基本	イ．自己紹介 ロ．コミュニケーション３要素 ハ．傾聴する力、グループワーク ニ．価値観について、グループワーク ホ．話の仕方、前向きな会話・クッションワード、グループワーク	12	
（２）ビジネスマナー	イ．身だしなみ ロ．指示の受け方、報告の仕方、相談 ハ．お辞儀の仕方、立ち方、座り方、歩き方、ロールプレイング ニ．名刺受け渡しの基本、着座時のマナー、ロールプレイング ホ．敬語 ヘ．お茶出しの基本、お茶のいただき方、ロールプレイング ト．訪問時マナー、ロールプレイング チ．電話応対、ロールプレイング	18	
	合計	30	

使用する機械 器具等	
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	情報基礎（テクノロジー系）	時間	60時間
到達水準	IT人材となるためにコンピュータシステムやアルゴリズムに関するテクノロジ分野 においての必要な基本（アルゴリズムとプログラミング・ソフトウェア・ データベース・情報セキュリティ・システム開発技術・ソフトウェア開発管理技術）を 知っている。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）基礎理論	イ．離散数学・応用数学・情報理論・通信理論・計測制御理論	6	
（2）アルゴリズムと プログラミング	イ．データ構造 ロ．アルゴリズム ハ．プログラミング・プログラム言語・マークアップ言語	6	
（3）コンピュータ構成 要素	イ．プロセッサ・メモリ・バス・入出力デバイス・入出力装置	6	
（4）システム構成要素	イ．システムの構成・システム評価指標	3	
（5）ソフトウェア	イ．オペレーティングシステム ロ．ミドルウェア ハ．ファイルシステム ニ．開発ツール ホ．オープンソースソフトウェア	3	
（6）ハードウェア	イ．ハードウェア全般	3	
（7）ヒューマン インターフェイス	イ．ヒューマンインターフェイス技術 ロ．インターフェイス設計	3	
（8）マルチメディア	イ．マルチメディア技術 ロ．マルチメディア応用	3	
（9）データベース	イ．データベース方式 ロ．データベース設計 ハ．データ操作 ニ．トランザクション処理 ホ．データベース応用	6	
（10）ネットワーク	イ．ネットワーク方式 ロ．データ通信と制御 ハ．通信プロトコル ニ．ネットワーク管理 ホ．ネットワーク応用	6	
（11）セキュリティ	イ．情報セキュリティ ロ．情報セキュリティ管理 ハ．セキュリティ技術評価 ニ．情報セキュリティ対策 ホ．セキュリティ実装技術	6	
（12）システム 開発技術	イ．システム要件定義 ロ．システム方式設計 ハ．ソフトウェア要件定義 ニ．ソフトウェア方式設計 ホ．ソフトウェア詳細設計 ヘ．ソフトウェア構築 ト．ソフトウェア結合/ソフトウェア適格性確認テスト チ．システム結合/システム適格性確認テスト リ．導入・受入支援・保守・廃棄	6	
（13）ソフトウェア 開発管理技術	イ．開発プロセス手法 ロ．知的財産適用管理 ハ．開発環境管理 ニ．構成管理・変更管理	3	
	合計	60	
使用する機械 器具等	パソコン、スクリーン、プロジェクタ		
備　　考			

科目の内容・細目シート

科目	情報基礎（マネジメント系）	時間	9時間
到達水準	IT人材となるためにプロジェクトマネジメントなどの管理・運用に関することなどマネジメント 分野においての必要な基本（プロジェクトマネジメント・サービスマネジメント ・システム監査）を知っている。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）プロジェクトマネジメント	イ．プロジェクトマネジメント ロ．統合マネジメント ハ．ステークホルダマネジメント ニ．スコープマネジメント ホ．タイムマネジメント ヘ．コストマネジメント ト．品質マネジメント チ．資源マネジメント リ．コミュニケーションマネジメント ヌ．リスクマネジメント ル．調達マネジメント	3	
（2）サービスマネジメント	イ．サービスマネジメント・サービスの設計/移行 ロ．サービスマネジメントプロセス・サービスの運用 ハ．ファシリティマネジメント	3	
（3）システム監査	イ．システム監査 ロ．内部統制	3	
	合計	9	

使用する機械 器具等	パソコン、スクリーン、プロジェクタ
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	情報基礎（ストラテジ系）	時間	36時間
到達水準	IT人材となるために経営戦略や会計・法務・ビジネス関連知識などストラテジ分野においての必要な基本（システム戦略・経営戦略マネジメント・企業活動・法務）を知っている。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）システム戦略	イ．情報システム戦略 ロ．業務プロセス ハ．ソリューションビジネス ニ．システム活用促進 ホ．評価	9	
（2）システム企画	イ．システム化計画 ロ．要件定義 ハ．調達計画 ニ．実施	3	
（3）経営戦略マネジメント	イ．経営戦略手法 ロ．マーケティング ハ．ビジネス戦略と目標・評価 ニ．経営管理システム	9	
（4）技術戦略マネジメント	イ．技術開発戦略の立案 ロ．技術開発計画	3	
（5）ビジネスインダストリ	イ．ビジネスシステム ロ．エンジニアリングシステム ハ．e-ビジネス ニ．民生機器 ホ．産業機器	3	
（6）企業活動	イ．経営組織論 ロ．OR/IE ハ．会計財務	3	
（7）法務	イ．知的財産権 ロ．セキュリティ関連法規 ハ．労働関連/取引関連法規 ニ．その他の法律/ガイドライン/技術者倫理 ホ．標準化関連	6	
	合計	36	

使用する機械 器具等	パソコン、スクリーン、プロジェクタ
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	IoT	時間	36時間
到達水準	ハードウェアの作成方法（IchigoJamを用いたボード上での組立）を 知っている。 IoTを活用した商品・サービスなどのアイディア・ビジネスプランの企画 ポイントや商品開発の企画・立案について知っている。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）ハードウェアの作成	イ．ハードウェアの作成（IchigoJamのボード上での組立）	6	
（2）IoTを活用したアイデア・ ビジネスプランの企画・立案	イ．IoTを活用した商品・サービス ロ．アイデア・ビジネスプランを企画するポイント ハ．イライラをなくすための商品開発の企画・立案	30	
	合計	36	

使用する機械 器具等	パソコン、スクリーン、プロジェクタ、IchigoJamプリント基板ハーフキットT
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	安全衛生	時間	3時間
到達水準	安全衛生の必要性について知っている。		
	VDT作業に適した作業環境について知っている。		
	VDT機器等及び作業環境の点検・清掃方法、必要に応じた改善措置について知っている。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）安全衛生の必要性	イ．安全衛生の必要性	1	
（2）VDT作業に適した作業環境	イ．VDT作業に適した作業環境	1	
（3）点検・清掃方法・改善措置	イ．VDT機器等及び作業環境の点検・清掃方法、必要に応じた改善措置	1	
	合計	3	

使用する機械 器具等	パソコン、スクリーン、プロジェクタ
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	試験対策	時間	18時間
到達水準	Webサイト制作のデザインおよびWebページのHTMLタグ・CSS等のコーディング能力を測定・評価することを目的にしたWebクリエイター能力認定試験に合格する程度の内容について知っている。 コンピュータ科学基礎・コンピュータシステム・システムの開発と運用・ネットワーク技術・データベース技術・セキュリティと標準化・情報と経営等からの出題とコンピュータ言語のプログラミングに関する出題内容となる基本情報技術者試験の午前免除試験に合格する程度の内容について知っている。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）Webクリエイター能力認定試験対策	イ．Webクリエイター能力認定試験対策	3	
（2）基本情報技術者試験の午前免除試験対策	イ．基本情報技術者試験の午前免除試験対策	15	
	合計	18	
使用する機械器具等	パソコン、スクリーン、プロジェクタ		
備　考			

科目の内容・細目シート

科目	文書作成基礎	時間	15時間
到達水準	Wordの基本操作（Wordの起動、終了・ファイル操作）ができる。		
	Wordによる文書の作成・書式設定・印刷・保存ができる。		
	Wordによるグラフィック機能の利用と表の作成ができる。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）Wordの基本操作	イ．Wordの概要、Wordの起動・終了、Wordの画面構成 ロ．ファイル操作		6
（2）文書の作成と印刷	イ．文書の新規作成、文章の入力、範囲選択、文字の削除・挿入・コピー・移動・配置・装飾、書式設定 ロ．文書の印刷・保存		6
（3）グラフィック機能の利用と表の作成	イ．クリップアートの挿入、図の挿入、ワードアートの挿入 ロ．表の作成、表のレイアウトの変更、表の書式設定		3
	合計		15

使用する機械器具等	パソコン、プリンタ、スクリーン、プロジェクタ
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	表計算基礎	時間	24時間
到達水準	Excelの基本操作（ファイル操作・データ入力・オートフィルの利用）ができる。		
	Excelによる表の作成・関数の入力ができる。		
	Excelによるグラフの作成ができる。		
	Excelによるデータベースの利用（テーブルへの変換・データの抽出）ができる。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）Excelの基本操作	イ．Excelの概要、Excelの起動・終了、Excelの画面構成 ロ．ファイル操作 ハ．データの入力 ニ．オートフィルの利用		6
（2）表の作成	イ．関数の入力 ロ．表の書式設定 ハ．表の行や列の操作		12
（3）グラフの作成	イ．円グラフ・棒グラフの作成		3
（4）データベースの利用	イ．テーブルへの変換 ロ．データの並べ替え ハ．データの抽出		3
	合計		24

使用する機械 器具等	パソコン、プリンタ、スクリーン、プロジェクタ
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	プレゼンテーション基礎	時間	12時間
到達水準	PowerPointの基本操作（起動と終了・画面構成・ファイル操作）ができる。		
	PowerPointによるスライドの作成ができる。		
	PowerPointによるアニメーションの設定ができる。		
	PowerPointによるスライドショーの実行ができる。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）PowerPointの基本操作	イ．PowerPointの概要、PowerPointの起動・終了、PowerPointの画面構成 ロ．ファイル操作		3
（2）スライドの作成	イ．新しいスライドの挿入、編集 ロ．図形の挿入、SmartArtグラフィックの挿入、表の挿入		6
（3）スライドショーの実行	イ．アニメーションの設定 ロ．画面切り替え効果の設定 ハ．スライドショーの実行		3
	合計		12

使用する機械 器具等	パソコン、プリンタ、スクリーン、プロジェクタ
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	プレゼンテーション実践	時間	18時間
到達水準	開発演習での制作発表におけるプレゼンテーションの作成ができる。 開発演習での制作発表における、スライドデザイン・アニメーションを用いた プレゼンテーションの発表ができる。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）プレゼンテーション デザインの基礎	イ．プレゼンテーションの目的とページネーション ロ．スライドデザインの基礎 ハ．ライティング ニ．アニメーションの設定 ホ．スライド用写真		3
（2）プレゼンテーション 作成実習	イ．開発演習発表プレゼンテーションの作成		12
（3）プレゼンテーション 発表	イ．開発演習発表プレゼンテーション		3
	合計		18

使用する機械 器具等	パソコン、プリンタ、スクリーン、プロジェクタ
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	データベース	時間	42時間
到達水準	リレーショナルデータベースと設計について知っている。		
	Accessテーブルについて知っている。		
	Accessクエリの作成・クエリによる抽出と集計ができる。		
	Accessフォームの作成ができる。		
	Accessレポートの作成ができる。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）データベース基礎	イ．データベースとデータベースソフトウェア ロ．リレーショナルデータベースと設計		9
（2）Accessテーブル	イ．テーブルとフィールド ロ．テーブル作成 ハ．リレーションシップの作成		6
（3）Accessクエリ	イ．クエリ作成 ロ．クエリによる抽出と集計		6
（4）Accessフォーム	イ．フォームの作成		6
（5）Accessレポート	イ．レポートの作成 ロ．ラベルの作成 ハ．レポートでの集計		6
（6）総合問題演習	イ．Accessの基本操作演習		9
	合計		42

使用する機械 器具等	パソコン、スクリーン、プロジェクタ
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	HTML5・CSS	時間	60時間
到達水準	HTML5の要素を知っている。 Webサイト製作するためのページ構成ファイルについて知っている。 HTMLの特徴・記述方法について知っている。 CSSのセレクター・各プロパティについて知っている。 HTMLやCSSのコーディングができる。 Webデザインの基礎（シェイプとプロポーション・画像加工・ユーザビリティに配慮したデザイン）について知っている。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
(1) HTML5の要素を知る	イ．HTML5の要素をシートにまとめる		6
(2) Webサイト製作の基礎知識	イ．Webサイトの基礎知識 ロ．ページを構成するファイルについて ハ．Webページを作る手順		1
(3) HTMLの基礎と応用	イ．HTMLの基礎知識 ロ．HTML5の特徴 ハ．HTML5の記述方法		2
(4) CSSの基礎と応用	イ．CSSの基礎知識 ロ．セレクターとは ハ．各プロパティの説明		3
(5) Webデザインの基礎知識	イ．ビジュアルデザインの基礎 ロ．シェイプとプロポーション ハ．タイポグラフィ ニ．色彩の基礎知識 ホ．配色の基礎知識 ヘ．画像加工の操作 ト．ユーザビリティ・アクセシビリティに配慮したWebデザイン		8
(6) 演習	イ．模擬問題での演習・解説		40
	合計		60

使用する機械器具等	パソコン、プリンタ、スクリーン、プロジェクタ
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	Javaプログラミング	時間	66時間
到達水準	プログラミングの基礎（変数、分岐、ループ、配列)について知っている。		
	Java言語文法について知っている。		
	オブジェクト指向プログラミング(継承、多態性、カプセル化)について知っている。		
	プログラム作成ができる。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）プログラミングの基礎	イ．変数 ロ．分岐 ハ．繰り返し ニ．配列		10
（2）Java言語文法	イ．Javaプログラムの基本構造 ロ．式と演算子 ハ．条件分岐 ニ．繰り返し ホ．メソッド ヘ．複数クラスを用いた開発		25
（3）オブジェクト指向プログラミング	イ．カプセル化 ロ．継承 ハ．多態性		25
（4）プログラム作成	イ．プログラム作成		6
	合計		66

使用する機械器具等	パソコン、プリンタ、スクリーン、プロジェクタ
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	PHP・MySQL	時間	60時間
到達水準	PHP言語の基本（変数、演算子、if文、ループ処理）について知っている。		
	基本操作（HTTPヘッダ、メール操作、ファイル操作）について知っている。		
	PHPからMySQLへの接続とデータ操作について知っている。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）PHP言語の基本	イ．変数 ロ．演算子 ハ．分岐処理 ニ．繰り返し処理		20
（2）基本操作	イ．HTTPヘッダ ロ．メール操作 ハ．ファイル操作		15
（3）PHPからMySQLへの接続とデータ操作	イ．MySQL単体での操作 ロ．PHPからのMySQLの操作		25
	合計		60
使用する機械器具等	パソコン、プリンタ、スクリーン、プロジェクタ		
備　　考			

科目の内容・細目シート

科目	開発演習	時間	90時間
到達水準	開発工程に伴うWebプログラミングまたはJavaによるプログラミングを行うことができる。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）開発工程に伴うWebプログラミングまたはJavaによるプログラミング	イ．企画・テーマの立て方、サイト制作にあたり素材の用意の仕方・ページ構成について ロ．ターゲット設定・システム開発テーマ設定、サイト制作にあたり原稿・素材の用意 ハ．サイトのページデザイン、HTML・CSS・Java・PHPによるコーディング ニ．テスト、修正		90
	合計		90
使用する機械器具等	パソコン、プリンタ、スクリーン、プロジェクタ		
備　　考			

科目の内容・細目シート

科目	デザイン実習	時間	12時間
到達水準	Illustratorの操作ができる。		
	簡単なロゴ作成ができる。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）Illustratorによるデザインの基本	イ．Illustratorの基本知識 ロ．Illustratorの基本操作		10
（2）簡単なロゴ作成	イ．Illustratorの特性を生かしたロゴの作成		2
	合計		12

使用する機械器具等	パソコン、スクリーン、プロジェクタ
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	写真デジタル加工	時間	15時間
到達水準	Photoshopの操作ができる。		
	Photoshopを使ったブログのタイトル画像の作成ができる。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
（1）Photoshopによる写真加工技術の基本	イ．Photoshopの基本知識 ロ．Photoshopの基本操作 ハ．Photoshoを使ったブログのタイトル画像作成		15
	合計		15

使用する機械器具等	パソコン、スクリーン、プロジェクタ
備　　考	

資料１－３

使用教材リスト

訓練科名：IT技術マスター科

教材名	出版社名	教材使用科目（分野）
基礎からの基本情報技術者試験突破テキスト テクノロジ系	実教出版	情報基礎　テクノロジ系
基礎からの基本情報技術者試験突破テキスト マネジメント・ストラテジ系	実教出版	情報基礎　マネジメント系 情報基礎　ストラテジ系
Webクリエイター能力認定試験 HTML5対応　エキスパート公式テキスト	FOM出版	HTML5・CSS
Webクリエイター能力認定試験（HTML5対応版） エキスパート 問題集	サーティファイ	HTML5・CSS
スッキリわかるJava入門 第2版 （スッキリシリーズ）	インプレス	Javaプログラミング
詳細! PHP 7+MySQL 入門ノート	ソーテック社	PHP・MySQL
デザインの学校 これからはじめる Illustrator & Photoshopの本 [CC2015対応版]	技術評論社	デザイン実習・写真デジタル加工
よくわかる Microsoft Word 2010 & Microsoft Excel 2010 & Microsoft PowerPoint 2010	FOM出版	文書作成基礎・表計算基礎・ プレゼンテーション基礎
よくわかる Microsoft Access 2010基礎	FOM出版	データベース
IchigoJam プリント基板ハーフキット T	PCN	IoT
ビジネスマナーと就職支援	－	ヒューマンスキル・就職支援
基本情報技術者試験　過去問題	－	試験対策

※上記については、特定の出版社および書籍の宣伝や推奨をするものではありません。最終判断はご利用者自身となりますのでご注意下さい。各教材の詳細情報や最新情報を取得したい場合は、出版社情報等を参考に各自でお問合せください。

資料２－１

委託訓練モデルカリキュラム

訓練科名	インテリアコーディネーター・CAD養成科	就職先の職務	住宅設備機器ﾒｰｶｰやｲﾝﾃﾘｱ関連販売店、住宅・建設会社・設計事務所でのｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰまたはCADｵﾍﾟﾚｰﾀｰ業務 福祉関連企業
訓練期間	訓練期間中にインテリアコーディネーター一次試験に対応した期間にすること（6ヶ月）		
訓練目標	①社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーションスキルを習得する ②インテリア関連の基本的な法規・規格・基準、人間工学、室内環境、内装工事材料の種類や特徴、色彩などのコーディネートを習得し、プレゼンテーションの基礎を学ぶ ③建築に関する基礎知識やCADによる図面作成の基礎的知識・技能を習得する ④就職活動力の養成		
仕上がり像	建築に関する基礎知識や、インテリア・住宅・商品に関する幅広い知識・専門的な技術などを有し、しっかりとヒヤリングし、その要望を基にプランニングし図面・立体モデルなどを作成しプレゼンテーションすることができる。		

訓練の内容	科目		科目の内容	時間
学科	入所式等		入所式、オリエンテーション、修了式	－
	インテリア商品と販売基礎		(1)インテリアコーディネーターに関する知識 (2)仕事の流れ	18
	インテリア計画と技術基礎知識		(1)インテリアの歴史 (2)インテリアコーディネーションの計画 (3)福祉住環境 (4)インテリアエレメント・関連エレメント (5)インテリアの構造・構法に関する知識 (6)環境と設備 (7)インテリアコーディネーションの表現 (8)インテリア関係の法規、規格、制度	141
	コンピュータ基礎概論		(1)パソコンの概要 (2)ファイル管理の基礎知識 (3)VDT作業における安全衛生管理 (4)個人情報保護法	9
	社会人基礎力		(1)自己分析　(2)仕事理解　(3)職業人講話　(4)職場見学 (5)コミュニケーション　(6)ビジネスマナー　(7)キャリア形成の必要性 (8)仕事に対する基本姿勢　(9)ストレスマネジメント	54
	就職支援		(1)就職活動の基礎　(2)履歴書・職務経歴書の作成 (3)キャリアコンサルティング　(4)面接対策	51
実技	CAD製図演習		(1)2次元CAD基本操作 (2)平面図の書き方基礎 (3)平面図の書き方応用 (4)3次元CAD基本操作 (5)プレゼンボード作成 (6)製図の基礎知識	120
	プレゼンテーション実習		(1)各種図面の作成方法（平面図・展開図・パース） (2)プレゼンテーション (3)プレゼンボード作成	90
	インテリアコーディネーター基礎実習		(1)インテリアコーディネーター演習問題 (2)インテリアコーディネーター模擬試験 (3)インテリアコーディネーター試験対策	75
	オフィスソフト実習		(1)Windowsの基礎知識 (2)Word2010の基本操作 (3)Excel2010の基本操作 (4)Power Point2010の基本操作 (5)Word・Excel・PowerPointの連携 (6)ビジネスに活用できる文書作成、帳票作成、総合問題 (7)試験対策演習	102
訓練時間総合計		学科	273　実技　387	660
主要な機器設備（参考）		パソコン一式、プロジェクター、スクリーン、サブモニター、ネットワーク一式、ソフトウェア一式、（Microsoft Office2010、JW_cad、住宅・建築プレゼンテーションソフト 3Dマイホームデザイナー）		

資料２－２

科目の内容・細目シート

科目	インテリア商品と販売基礎	時間	18時間
到達水準	インテリアコーディネーターの歴史について知っている。		
	インテリアコーディネーターに関する知識について知っている。		
	インテリアコーディネーターの仕事について知っている。		
	インテリアコーディネーションのための検討事項について知っている。		
	建築構造について知っている。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
(1)インテリアコーディネーターに関する知識	イ.インテリアコーディネーターの誕生とその背景 ロ.インテリア産業の発展とインテリアコーディネーターの誕生 ハ.コンサルティング手法（インテリア販売・コンサルティング・コーディネーター手法） ニ.建築構造の知識 ホ.インテリア商材についての知識 ヘ.インテリアコーディネーターとしての注意点 ト.インテリアコーディネーターの職域 チ.確認テストと解説	12	
(2)仕事の流れ	イ.インテリアコーディネーターの仕事 ロ.マーケティング（インテリア販売・積算・見積） ハ.ヒアリング・事前調査について ニ.イメージの具体化について ホ.提案・調整について ヘ.実施計画・見積・契約について ト.インテリアエレメントのお見積もりの作成について チ.各種管理・手配について リ.引渡し・アフタフォローについて ヌ.確認テストと解説	6	
	合計	18	
使用する機械器具等			
備　　考			

科目の内容・細目シート

科目	インテリア計画と技術基礎知識	時間	141時間
到達水準	インテリア関連の法規・規格・基準を知っている。		
	人間工学を知っている。		
	室内環境を知っている。		
	内装工事材料の種類と特徴を知っている。		
	色彩を知っている。		
	ユニバーサルデザイン（バリアフリー）について知っている。		
	高齢者対応のインテリアについて知っている。		
	プレゼンテーション用具とその特性を知っている。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
(1)インテリアの歴史	イ.日本のインテリアの歴史 ロ.西洋のインテリアの歴史 ハ.確認テストと解説	6	
(2)インテリアコーディネーションの計画	イ.人間工学 ロ.色彩（色彩計画） ハ.リフォームに関する知識 ニ.インテリア設計・平面計画 ホ.内装材・建材 ヘ.確認テストと解説	27	
(3) 福祉住環境	イ.暮らしやすい生活環境をめざして ロ.健康と自立をめざして ハ.バリアフリーとユニバーサルデザイン ニ.安全・安心・快適な住まい ホ.安心できる住生活とまちづくり ヘ.確認テストと解説	42	
(4)インテリアエレメント・関連エレメント	イ.インテリアエレメント ロ.室内装飾 （住宅家具、造作部品、システム・ユニット製品、ウインドートリートメント、カーペット、インテリアオーナメント等） ハ.住宅設備（家具の分類・家具の選び方） ニ.インテリアオーナメント（選択するときの確認事項） ホ.各種品質表示 ヘ.エクステリア（エクステリアエレメント） ト.確認テストと解説	12	
(5)インテリアの構造・構法に関する知識	イ.建築の構造・構法について ロ.インテリア（床・壁・天井）の構法 ハ.造作（造作と造作材） ニ.機能材料と構法 ホ.内装材・建材（仕上げと仕上げ等に関する知識） ヘ.建具 ト.確認テストと解説	15	
(6)環境と設備	イ.インテリア・環境工学 （熱・湿気・換気・通気、音、光） ロ.インテリア住宅設備 （給排水、換気・空調、自然エネルギー、電気、照明、水回り設備機器） ハ.確認テストと解説	15	
(7)インテリアコーディネーションの表現	イ.インテリアコーディネーターと設計図書のかかわり ロ.建築設計図書に関して ハ.インテリアコーディネーションの表現 ニ.インテリアコーディネーションとCAD ホ.プレゼンテーション概論 ヘ.確認テストと解説	9	
(8)インテリア関係の法規・規格、制度	イ.概要 ロ.主な関連法規 ハ.インテリア関連の制度と表示マーク ニ.確認テストと解説	15	
	合計	141	

使用する機械器具等	
備　考	

科目の内容・細目シート

科目	コンピュータ基礎概論	時間	9時間
到達水準	安全衛生の必要性、職場で行う作業の安全衛生について知っている。 個人情報の重要性、取り扱いについて知っている。 パソコンの概要（システムの取扱い・外部記憶装置・周辺機器とインターフェイス）について知っている。 ファイル管理の基礎（圧縮ファイル・ショートカットの利用）について知っている。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
(1)パソコンの概要	イ.システムの取り扱い（ハードウェアの基礎知識） ロ.システム・ファイル形成（ソフトウェアの基礎知識） ハ.ＣＰＵについて ニ.メモリ ホ.外部記憶装置 ヘ.リムーバブルメディア ト.周辺機器とインターフェイス チ.演習	4	
(2)ファイル管理の基礎知識	イ.圧縮ファイル（ファイルの管理） ロ.ショートカットの利用 ハ.Jw_CADでの安全対策（ファイル操作時の注意点）	2	
(3) VDT作業における安全衛生管理	イ.ＶＤＴ作業の注意点 ロ.安全衛生へのアプローチ ハ.整理・整頓・清掃・清潔・しつけ（５S）の取組	1	
(4)個人情報保護法	イ.個人情報保護法制定の背景 ロ.個人情報保護法　用語 ハ.個人情報悪用の例 ニ.利用目的の範囲について ホ.従業員の監督について	2	
	合計	9	
使用する機械器具等			
備　　考			

科目の内容・細目シート

科目	社会人基礎力	時間	54時間	
到達水準	ルール、慣行などを遵守できる。			
	挨拶・笑顔・お辞儀・言葉遣いの基本動作ができる。			
	接遇時、訪問時のビジネスマナーを知っている。			
	正確にホウレンソウ（報告・連絡・相談）ができる。			
科目の内容	内容の細目		訓練時間 学科	訓練時間 実技
(1)自己分析	イ.人生と仕事へ向き合う ロ.自己理解を深める ハ.今までの経験の棚卸し ニ.成功体験 ホ.交流分析 ヘ.自己啓発目標設定		6	
(2)仕事理解	ト.職業を選ぶということ チ.キャリア選択の「4つのキーワード」 リ.仕事に必要な能力 ヌ.今までの経験のプレゼンテーション		3	
(3)職業人講話	ル.明和工業株式会社　代表取締役社長 ヲ.清川建設株式会社　専務取締役 ワ.社会保険労務士 カ.講話に対してのレポート作成		9	
(4)職場見学	ヨ.住まい工房株式会社 タ.TAD株式会社		6	
(5)コミュニケーション	レ.コミュニケーションの3つのスタイル ソ.アサーション度セルフチェック ツ.アサーティブコミュニケーションのためのDESC法 ネ.ケーススタディ		9	
(6)ビジネスマナー	ナ.相手の期待に応えるマナー5原則 ラ.対話力アップ！会話のコツを掴む ム.信頼を得るための仕事術 ウ.電話応対の基本 ヰ.電話応対ケーススタディ ノ.クレーム対応		12	
(7)キャリア形成の必要性	オ.キャリア形成とは ク.再就職と能力開発 ヤ.キャリアプランの作成		3	
(8)仕事に対する基本姿勢	マ.仕事への姿勢・考え方 ケ.プライベートマインド		3	
(9)ストレスマネジメント	フ.求職活動を始める上での心がけ コ.ストレス解消のためのストレッチ エ.あなたのストレス型と解消法 テ.タイプ別コミュニケーション		3	
		合計	54	
使用する機械 器具等				
備　　考				

科目の内容・細目シート

科目	ＣＡＤ製図演習	時間	120時間
到達水準	作図編集の操作ができる。		
	レイヤの活用ができる。		
	ファイルの管理ができる。		
	システムの環境設定ができる。		
	平面図・立面図・パースなど基本的な図面を描くことができる。		
	建築製図通則に従い、建築図を描くことができる。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
(1) ２次元ＣＡＤ基本操作	イ.2次元CAD基本作図コマンド（基本作図機能操作） ロ.演習問題と解説		5
(2)平面図の書き方基礎	イ.部屋の平面図の作成 ロ.印刷の設定 ハ.編集コマンド（図形の編集） ニ.演習問題と解説		12
(3) 平面図の書き方応用	イ.レイヤ ロ.平面図 ハ.敷地図と面積図 ニ.立面図 ホ.設備図 ヘ.演習問題と解説 ト.試験対策と解説（建築ＣＡＤ検定試験3級・2級）		83
(4) ３次元ＣＡＤ基本操作	イ．３ＤマイホームデザイナーＰＲＯ９ＥＸの概要と特徴 ロ.起動と終了 ハ.間取りプラン作成（敷地作成、部屋作成、間取り作成） ニ.パーツ作成（建具配置、設備・家具配置、外構配置、屋根作成） ホ.建築費概算		6
(5)プレゼンボード作成	イ.プレゼンテーション ロ.印刷・出力 ハ.プレゼンボードデザイナー ニ.演習問題と解説		5
(6)製図の基礎知識	イ.製図の基本 ロ.計画と設計の流れ ハ.図面ファイルの取り扱い方 ニ.用語解説		9
	合計		120

使用する機械 器具等	パソコン一式、ソフトウェア一式（Jw_cad7.11、マイホームデザイナーPRO9）
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	プレゼンテーション実習	時間	90時間
到達水準	インテリア関連の各種図法を使って作図できる。		
	建築・インテリア設計を描くことができる。		
	用途別インテリアプランニングができる。		
	カラーコーディネーションができる。		
	プレゼンテーションボードが製作できる。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間	
		学科	実技
(1)各種図面の作成方法 （平面図・展開図・パース）	イ.プランニング（インテリアイメージのプランニング） ロ.平面図 ハ.展開図 ニ.パース		27
(2)プレゼンテーション	イ.二次試験論文対策 ロ.二次試験プレゼンテーション対策 ハ.インテリアコーディネーター二次試験過去問題 ニ.インテリアコーディネーター二次試験過去問題解説と補足説明 ホ.インテリアコーディネーター二次試験予想問題 ヘ.インテリアコーディネーター二次試験予想問題解説と補足説明		39
(3)プレゼンボード作成	イ.プレゼンボード作成手法 ロ.レイアウト方法のコツ ハ.課題プレゼンボードの作成		24
	合計		90

使用する機械 器具等	製図用具一式、プレゼンボード
備　　考	

科目の内容・細目シート

科目	インテリアコーディネーター基礎実習	時間	75時間	
到達水準	要望事項の確認ができる。			
	玄関・玄関ホールのコーディネートができる。			
	リビングルームのコーディネートができる。			
	ダイニングルームのコーディネートができる。			
	キッチンのコーディネートができる。			
	浴室・洗面室・便所のコーディネートができる。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技	
(1)インテリアコーディネーター演習問題	イ.インテリアコーディネーター演習問題		30	
	ロ.インテリアコーディネーター一次試験予想問題			
	ハ.インテリアコーディネーター一次試験過去問題			
	ニ.福祉住環境コーディネーター過去問題			
(2)インテリアコーディネーター模擬試験	イ.インテリアコーディネーター年度別資格試験過去問題		15	
(3) インテリアコーディネーター試験対策	イ.インテリアコーディネーター演習問題解説		30	
	ロ.インテリアコーディネーター一次試験予想問題解説と補足説明			
	ハ.インテリアコーディネーター一次試験過去問題解説と補足説明			
	ニ.福祉住環境コーディネーター過去問題解説と補足説明			
	ホ.インテリアコーディネーター年度別資格試験過去問題解説と補足説明			
	合計		75	
使用する機械器具等				
備　　考				

科目の内容・細目シート

科目	オフィスソフト実習	時間	102時間
到達水準	文書設定を行うことができる。 ワープロソフトの様々な機能を活用し、レイアウト構成にも配慮した文書が作成できる。 ビジネス文書の種類、構成等について基本を理解し、定型的なビジネス文書の 作成ができる。 ワークシートへデータ入力（数値・文字列）ができる。 書式通りに表の作成ができる。 ワークシートの編集（データ・式の編集・消去、データ・式の複写・移動、セル・ 行・列の挿入・削除）ができる。 簡単な帳票類（業務報告書、請求書）の作成ができる。 表計算ソフトの関数機能を一通りマスターし、各種計算や作表を確実に遂行できる。		

科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科	訓練時間 実技
(1) Windowsの基礎知識	イ.Windows7の基本操作 ロ.ファイルとフォルダの操作 ハ.演習問題と解説		2
(2) Word2010の基本操作	イ.Wordの概要 ロ.文書の作成作成と印刷 ハ.グラフィック機能の利用 ニ.表の作成 ホ.演習問題と解説		14
(3) Excel2010の基本操作	イ.Excelの概要 ロ.表の作成 ハ.グラフの作成 ニ.データベースの利用 ホ.演習問題と解説		25
(4) Power Point2010の 基本操作	イ.PowerPointの基礎知識 ロ.プレゼンテーションの作成 ハ.プレゼンテーションの実行 ニ.演習問題と解説		6
(5) Word・Excel・ PowerPointの連携	イ.ExcelのデータをWordの文書で利用 ロ.Excelデータを Wordの文書に差し込み印刷 ハ.Word文書をPowerPointのプレゼンテーションで利用 ニ.演習問題と解説		1
(6) ビジネスに活用できる 文書作成、帳票作成、 総合問題	イ.社内・社外文書作成 ロ.帳票作成 ハ.総合問題と解説		1
(7) 試験対策演習	イ.ワープロ部門3級対策、模擬問題と解説 ロ.ワープロ部門2級対策、模擬問題と解説 ハ.表計算部門3級対策、模擬問題と解説 ニ.表計算部門2級対策、模擬問題と解説		53
	合計		102

使用する機械 器具等	パソコン一式、ソフトウェア一式（Microsoft Office2010）
備　　考	

使用教材リスト

訓練科名：インテリアコーディネーター・ＣＡＤ養成科

教材名	出版社名	教材使用科目（分野）
インテリアコーディネーター ハンドブック統合版　上	公益社団法人 インテリアデザイン産業協会	インテリア商品と販売基礎 インテリア計画と技術基礎知識 インテリアコーディネーター基礎実習
インテリアコーディネーター ハンドブック統合版　下	公益社団法人 インテリアデザイン産業協会	インテリア商品と販売基礎 インテリア計画と技術基礎知識 インテリアコーディネーター基礎実習
インテリアコーディネーター1次試験 予想問題徹底研究2016	ハウジング エージェンシー	インテリア商品と販売基礎 インテリア計画と技術基礎知識 インテリアコーディネーター基礎実習
インテリアコーディネーター 2次試験過去問題徹底研究2016	ハウジング エージェンシー	プレゼンテーション実習
福祉住環境コーディネーター 検定試験® 3級公式テキスト	東京商工会議所	インテリア商品と販売基礎 インテリア計画と技術基礎知識 インテリアコーディネーター基礎実習
やさしく学ぶ　Jw_cad☆デラックス	エクスナレッジムック	CAD製図演習
よくわかる Microsoft Word2010&Microsoft Excel2010 PowerPoint2010	FOM	オフィスソフト実習
製図用具セット	ハウジング エージェンシー	プレゼンテーション実習
建築製図入門	実教出版	CAD製図演習
コンピュータサービス技能試験　表計算部門 2級　受験対策練習問題集	九州文化出版	オフィスソフト実習
コンピュータサービス技能試験　ワープロ部門 2級　受験対策練習問題集	九州文化出版	オフィスソフト実習
自己分析	－	社会人基礎力
仕事理解・仕事に対する姿勢	－	社会人基礎力
コミュニケーション	－	社会人基礎力
ビジネスマナー	－	社会人基礎力
クレーム対応	－	社会人基礎力
ストレスマネジメント	－	社会人基礎力
履歴書・職務経歴書の書き方	－	就職支援
就職活動の基礎	－	就職支援
パソコンの基礎知識	－	コンピュータ基礎概論、オフィスソフト実習
VDT作業における安全衛生管理	－	コンピュータ基礎概論
個人情報保護概論	－	コンピュータ基礎概論
パソコンとインターネットの基礎知識	－	コンピュータ基礎概論
コンピュータサービス技能評価試験問題集	－	オフィスソフト実習
コンピュータサービス技能評価試験受験対策ドリル集	－	オフィスソフト実習
建築CAD検定試験問題集2013、2015、2017	－	CAD製図演習
インテリアコーディネーター1次試験 過去問題徹底研究2016	－	インテリアコーディネーター基礎実習
インテリアコーディネーター 2次試験予想問題徹底研究2016	－	プレゼンテーション実習
インテリアコーディネーター資格試験 年度別過去問題集	－	インテリアコーディネーター基礎実習
インテリアコーディネーター一問一答徹底研究	－	インテリア商品と販売基礎・インテリア計画と技術基礎知識
福祉住環境コーディネーター検定試験過去問題集	－	インテリアコーディネーター基礎実習

※上記については、特定の出版社および書籍の宣伝や推奨をするものではありません。最終判断はご利用者自身となりますのでご注意下さい。
各教材の詳細情報や最新情報を取得したい場合は、出版社情報等を参考に各自でお問い合わせください。